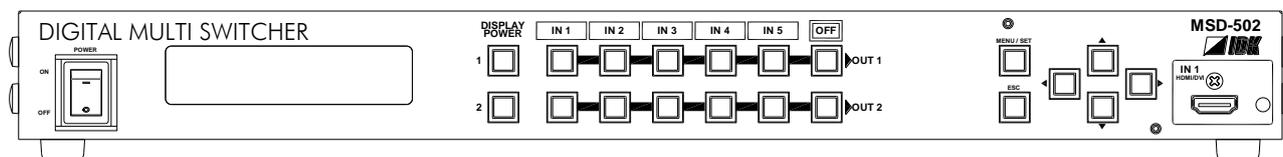
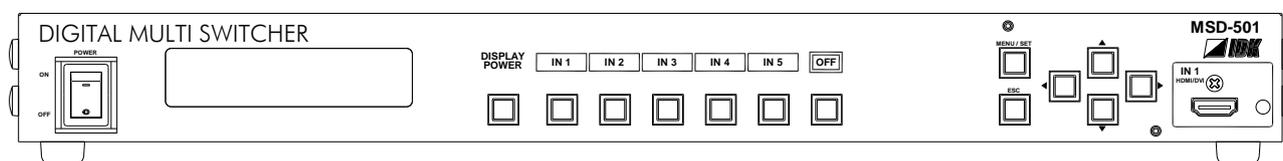


デジタルマルチスイッチャ

MSD-501 / 502

<コマンドガイド>

取扱説明書 Ver.1.4.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- PLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDBaseT™ および HDBaseT Alliancer ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

取扱説明書の分冊構成

この取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。必要に応じて、各取扱説明書をお読みください。なお、コマンドガイドについては、ホームページからの提供となります。

■ ユーザーズガイド

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■ コマンドガイド (本書)

[目的]

- ・ RS-232C 通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

目次

1	本書の概要	5
2	通信の設定と仕様	6
2.1	RS-232C 通信	6
2.1.1	RS-232C 通信のための設定手順	6
2.1.2	RS-232C コネクタ仕様	7
2.1.3	RS-232C 通信仕様	7
2.2	LAN 通信	8
2.2.1	LAN 通信のための設定手順	8
2.2.2	LAN コネクタ仕様	9
2.2.3	LAN 通信仕様	9
2.2.4	TCP-IP コネクション数の制限と解決策	10
3	コマンド	11
3.1	コマンド概要	11
3.2	コマンド一覧	12
3.3	コマンド詳細	17
3.3.1	エラーステータス	17
3.3.2	電源スイッチ	18
3.3.3	入力チャンネル選択	19
3.3.4	画角設定	21
3.3.5	画質設定	31
3.3.6	入力設定	36
3.3.7	入力タイミング設定	40
3.3.8	出力設定	46
3.3.9	音声設定	55
3.3.10	EDID 設定	63
3.3.11	RS-232C 通信設定	69
3.3.12	LAN 通信設定	71
3.3.13	制御コマンド送信設定	74
3.3.14	プリセットメモリ	84
3.3.15	ビットマップ設定	90
3.3.16	その他設定	99

1 本書の概要

本書では、RS-232C 通信または LAN 通信を使用した、MSD-501 / 502 を制御する通信コマンドについて説明します。

■ 通信コマンドを使ってできること

- ・チャンネルの切り換え
- ・入出力、音声および EDID の設定
- ・外部制御コマンドの送信設定
- ・プリセットメモリの設定
- ・ビットマップの設定と表示 など

2 通信の設定と仕様

本章では、RS-232C 通信と LAN 通信の設定手順と、仕様について説明します。

2.1 RS-232C 通信

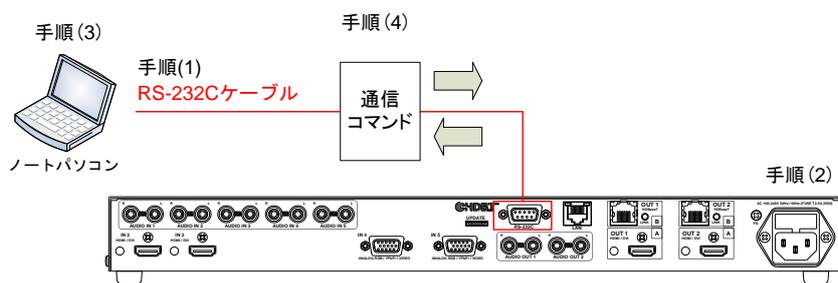
2.1.1 RS-232C 通信のための設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との RS-232C 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を RS-232C ケーブルで接続します。
- (2) 本機に RS-232C 通信設定をします。
 - ・ RS-232C 通信の設定：通信速度、データビット長、パリティチェック、ストップビット
 - ・ RS-232C 通信の動作モード：“受信モード”に設定します
 - ・ 制御機器間 RS-232C 伝送：“OFF”に設定します

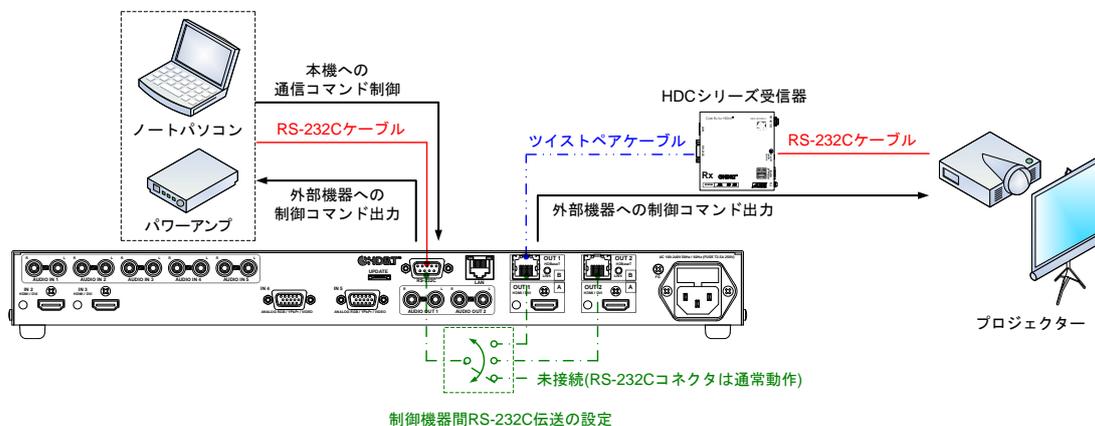
【参照：ユーザズガイド】

- (3) 制御機器に、上記 (2) で本機に設定した「RS-232C 通信の設定」と同じ設定をします。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態がわかります。



[図 2.1] RS-232C 通信の設定手順

■ RS-232C 通信の動作例



[図 2.2] RS-232C 通信の動作例

2.1.2 RS-232C コネクタ仕様

RS-232C コネクタのピン配列は次のとおりです。



[図 2.3] RS-232C コネクタ仕様

2.1.3 RS-232C 通信仕様

RS-232C 通信仕様は次のとおりです。

[表 2.1] RS-232C 通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800 / 9600 / 19200 / 38400 [bps]
データビット長	7 / 8 ビット
パリティチェック	なし / 奇数 / 偶数
ストップビット	1 / 2 ビット
Xパラメータ	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CR LF (復帰+改行, 16進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重

2.2 LAN 通信

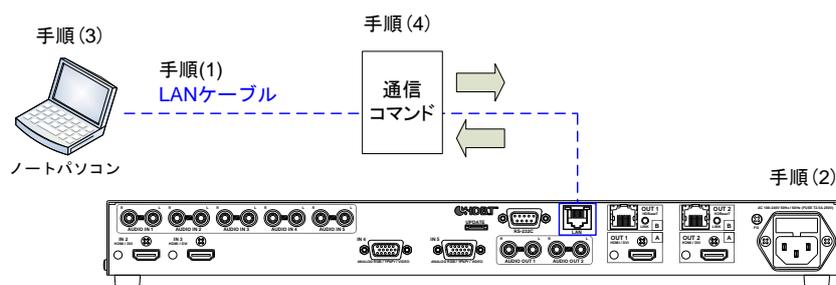
2.2.1 LAN 通信のための設定手順

次の手順に従い、本機とパソコンなどの制御機器との LAN 通信設定をしてください。

- (1) 制御機器と本機を LAN ケーブルで接続します。
- (2) 本機に LAN 通信設定をします。
 - ・ IP アドレス、サブネットマスクの設定
 - ・ LAN 通信の動作モード：“受信モード”に設定します
 - ・ TCP ポート番号：23、1100、6000 ~ 6999 番

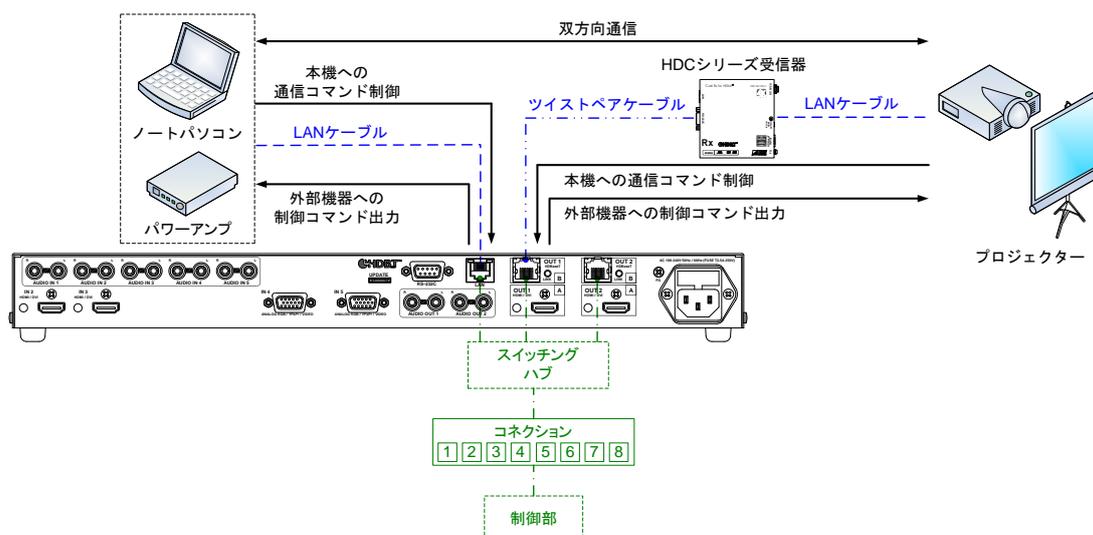
【参照：ユーザズガイド】

- (3) 上記 (2) で本機に設定した IP アドレスおよび TCP ポート番号へ、制御機器から接続を確立します。
- (4) 制御機器から通信コマンドを本機に送信します。
通信コマンドを使うことで、本機の制御や状態がわかります。



[図 2.4] LAN 通信による制御

■ LAN 通信の動作例



[図 2.5] LAN 通信の動作例

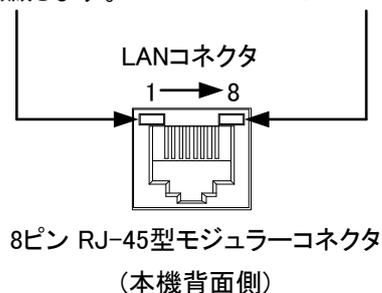
2.2.2 LAN コネクタ仕様

LAN コネクタのピン配列は次のとおりです。

ストレートケーブル / クロスケーブルの判別・切り換えを自動的に行なう Auto MDI / MDI-X に対応していますので、本機とパソコンまたはハブなどとの接続のとき、意識せずに接続することが可能です。

データを送受信しているとき、
緑色に点滅します。

データの送受信レートが100 Mbpsのとき、
オレンジ色に点灯します。



ピン番号	信号名	
	MDI	MDI-X
1	TX+ (送信データ +)	RX+ (受信データ +)
2	TX- (送信データ -)	RX- (受信データ -)
3	RX+ (受信データ +)	TX+ (送信データ +)
4	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
5	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
6	RX- (受信データ -)	TX- (送信データ -)
7	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)
8	N.C. (未使用)	N.C. (未使用)

[図 2.6] LAN コネクタ仕様

2.2.3 LAN 通信仕様

LAN 通信仕様は次のとおりです。

[表 2.2] LAN 通信仕様

物理層	10Base-T (IEEE802.3i) / 100Base-TX (IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP 通信コマンド制御使用ポート : 23、1100、6000 ~ 6999 WEB ブラウザ制御 (HTTP) 使用ポート : 80、5000 ~ 5999
アプリケーション層	HTTP, TELNET

【注意】 同時に使用する事ができるコネクション数は最大 8 個です。

2.2.4 TCP-IP コネクション数の制限と解決策

本機は、最大 8 コネクション (8 ポート) まで同時に接続することができます。ただし、同時に使用することができるコネクション数が限られているため、9 台以上のパソコンから制御をする場合、本機とのコネクションに失敗することがあります。

8 コネクションより多くのパソコンからコマンド制御をする場合は、次の表に示す方法を使ってください。ユーザ側のソフトから、TCP-IP のコネクション・クローズを通信コマンドの送受信ごとに実行することで、本機側のポート占有と解放がされます。そのため、常時ポートを占有することはなく、論理的に 8 ポート以上の接続をすることができます。

[表 2.3] 接続数を増やす方法

ユーザ側パソコンソフト		本機
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有)
コマンド送信 (@xxx)	→	
	←	コマンド返信 (@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート解放)

【注意】 パソコン側から本機へ 30 秒間コマンドの送信がなかった場合、本機は、コネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理をします。そのため、パソコン側から再度コネクションを確立しないと通信ができなくなります。

再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいたパソコン側コネクションの切断処理をした後に、再度コネクションの確立処理をしてください。

(本機のポート数は 8 ポートのため、コネクションが繋がったままパソコン側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されます。この占有を回避するため、パソコン側から通信コマンドが送信されない場合、本機はコネクションの切断処理をします。)

3 コマンド

3.1 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@ (16進表記の40) の後に3文字の半角英字 (大文字、小文字) と、それに続くパラメータ (半角数字) からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータを必要としないものがあります。)

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @SPM,2 ␣

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字で、カンマ (16進表記の2C) を表します。

␣は、デリミタ CR LF (復帰+改行, 16進表記の0D と 0A) を表します。

■ エラーがある場合

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合はエラーコマンドを返します。

例 : @SOT,1 ␣

@ERR,1 ␣

■ HELP としての使い方

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、ヘルプコマンドとしてコマンドの一覧を送り返します。

例 : ␣

----- HELP (1/13) ----- ␣

(CHANNEL SELECT Command) ␣

@SSW / @GSW : Set/Get Input Channel ␣

@SSV / @GSV : Set/Get Video Input Channel ␣

@SSA / @GSA : Set/Get Audio Input Channel ␣

3.2 コマンド一覧

■ エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	17

■ 電源スイッチ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDS / @SDS	シンク機器電源スイッチ	18

■ 入力チャンネル設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GSW / @SSW	映像・音声チャンネル同時切換	19
@GSV / @SSV	映像チャンネル切換	19
@GSA / @SSA	音声チャンネル切換	20

■ 画角設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GOT / @SOT	出力解像度	21
@GTD	実際の出力解像度	22
@GUM / @SUM	シンク機器のアスペクト比	22
@GAP / @SAP	アスペクト比	23
@GAR / @SAR	アスペクト比復元処理	23
@GOV / @SOV	オーバースキャン	24
@GNP / @SNP	入力表示位置	24
@GNS / @SNS	入力表示サイズ	25
@GNM / @SNM	入カマスキング	26
@IAS	入力オートサイジング	26
@GOP / @SOP	出力表示位置	27
@GOS / @SOS	出力表示サイズ	27
@GOM / @SOM	出カマスキング	28
@OAS	出力オートサイジング	28
@GBC / @SBC	バックカラー	29
@GTP / @STP	テストパターン	30

■ 画質設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GFL / @SFL	シャープネス	31
@GBR / @SBR	入力ブライトネス	31
@GCO / @SCO	入力コントラスト	32
@GHU / @SHU	色相	32
@GST / @SST	彩度	33
@GSU / @SSU	セットアップレベル	33
@IDC	入力デフォルトカラー	34
@GOB / @SOB	出力ブライトネス	34
@GOC / @SOC	出力コントラスト	35
@ODC	出力デフォルトカラー	35

■ 入力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GDT / @SDT	映像信号の無入力監視	36
@GHE / @SHE	HDCP 入力の禁止 / 許可	36
@GIQ / @SIQ	入力イコライザ	37
@GAI / @SAI	アナログ入力の信号種別	37
@GID / @SID	入力映像信号 OFF の自動検出	38
@GFX / @SFX	入力信号ごと設定の固定	39

■ 入力タイミング設定

コマンド	機能	詳細ページ
@AIS / @AIT	自動計測	40
@GHT / @SHT	水平総ドット数	40
@GHS / @SHS	水平取り込み開始位置	41
@GHD / @SHD	水平表示期間	41
@GVS / @SVS	垂直取り込み開始位置	42
@GVD / @SVD	垂直表示期間	42
@GIS / @SIS	取り込み開始位置の自動計測	43
@GSM / @SSM	未登録信号入力時の自動計測	43
@RTT	機種データの読み出し	44
@STT	機種データの登録	44
@GTK / @STK	トラッキング	45

■ 出力設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GEQ / @SEQ	出力イコライザ	46
@GDM / @SDM	出力モード	46
@GUY / @SUY	映像信号無入力時の同期信号出力	47
@GBO / @SBO	映像信号無入力時の出力映像	47
@GFF / @SFF	映像入力チャンネル切り換え効果	48
@GFT / @SFT	映像入力チャンネル切り換え時間	48
@GWC / @SWC	ワイプカラー	49
@GVO / @SVO	映像出力コネクタ	49
@GEN / @SEN	HDCP 出力	50
@GHR / @SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数	50
@GDC / @SDC	Deep Color 出力	51
@GCE / @SCE	CEC 接続	51
@HAU	HDCP 再認証	52
@GAU / @SAU	入力チャンネル自動切換優先度 OFF→ON	52
@GOF / @SOF	入力チャンネル自動切換優先度 ON→OFF	53
@GMT / @SMT	入力チャンネル自動切換後のマスク時間	53
@GAD / @SAD	入力チャンネル自動切換時のチャンネル切換モード	54

■ 音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GSL / @SSL	音声出力レベル	55
@SOL	音声出力レベル 相対値	55
@GOL	音声出力レベル リミット状態	55
@GAM / @SAM	音声出力ミュート	56
@GAS / @SAS	音声入力選択	56
@GSD	実際の音声入力選択	57
@GSO / @SSO	音声入力レベル	57
@SIL	音声入力レベル 相対値	57
@GIL	音声入力レベル リミット状態	58
@GLO / @SLO	出力リップシンク	58
@GLY / @SLY	入力リップシンク	58
@GSF / @SSF	サンプリング周波数	59
@GFD	実際のサンプリング周波数	59
@GDO / @SDO	音声出力コネクタ	60
@GAO / @SAO	デジタル音声出力コネクタ	60
@GMD / @SMD	マルチチャンネル音声出力	61
@GCH / @SCH	マルチチャンネル音声出力優先度	61
@GAT / @SAT	テストトーン	62

■ EDID 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GED / @SED	EDID データ	63
@GVF / @SVF	パソコン用入力解像度	64
@GHF / @SHF	AV 機器用入力解像度	65
@GDI / @SDI	Deep Color 入力	65
@GAF / @SAF	音声フォーマット	66
@GSP / @SSP	スピーカー数	67
@RME	EDID データのコピー	68

■ RS-232C 通信設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GCT / @SCT	RS-232C 通信	69
@GCF / @SCF	RS-232C 通信の動作モード	70
@GCD / @SCD	制御機器間 RS-232C 伝送	70

■ LAN 通信設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GIP / @SIP	IP アドレス	71
@GSB / @SSB	サブネットマスク	71
@GGW / @SGW	ゲートウェイアドレス	71
@GLF / @SLF	LAN 通信の動作モード	72
@GLP / @SLP	TCP ポート番号	73
@GMC	MAC アドレス	73

■ 制御コマンド通信設定

コマンド	機能	詳細ページ
@EXC	制御コマンドの実行	74
@GEC / @SEC	制御コマンド (通信コマンド制御)	74
@GEC / @SEC	制御コマンド (受信データの表示)	76
@GEC / @SEC	制御コマンド (CEC 制御)	79
@GRC / @SRC	返信コマンド	80
@GCC / @SCC	制御コマンド 関連付け	81
@GIT / @SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間	82
@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	82
@GTF / @STF	シンク機器電源スイッチの点滅時間	83

■ プリセットメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@RCM	クロスポイントメモリの読み出し	84
@SCM / @SEM	クロスポイントメモリへの保存	84
@GCM / @ECM	クロスポイントメモリの編集	85
@RCV	クロスポイントメモリの読み出し (映像チャンネル設定)	85
@SCV / @SEV	クロスポイントメモリへの保存 (映像チャンネル設定)	86
@GCV / @ECV	クロスポイントメモリの編集 (映像チャンネル設定)	86
@RCA	クロスポイントメモリの読み出し (音声チャンネル設定)	87
@SCA / @SEA	クロスポイントメモリへの保存 (音声チャンネル設定)	87
@GCA / @ECA	クロスポイントメモリの編集 (音声チャンネル設定)	88
@RPM / @SPM	全設定の保存	88
@SCP	出力設定のコピー	89
@GMU / @SMU	電源投入時の設定	89

■ ビットマップ設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GBM / @SBM	ビットマップ画像の出力	90
@GBB / @SBB	バックカラー	91
@GBT / @SBT	アスペクト比	92
@GZP / @SZP	表示位置	93
@GBA / @SBA	入力チャンネル割り当て	94
@GPB / @SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力	95
@GBD / @SBD	ビットマップ用メモリの分割	96
@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態	97
@GBN / @SBN	登録するビットマップ番号	97
@GFZ / @SFZ	フリーズ	98
@CAP	入力映像のキャプチャ	98

■ その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@GLS / @SLS	キーロック	99
@GLM / @SLM	フロントパネル キーロック対象	99
@GBZ / @SBZ	ブザー音	100
@GSS	入出力ステータス	100
@GES	モニタ EDID 情報	104
@GIV	バージョン情報	104

3.3 コマンド詳細

3.3.1 エラーステータス

@ERR	エラーステータス	
書式	返り値のみ	
返り値	@ERR, error 	
パラメータ	<p>error : エラーステータス</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンドまたはコマンドの書式に誤りがあります。 3 = 現在使用できないコマンドです。 4 = なし 5 = 制御コマンドが登録されていないため、実行できません。 6 = 制御コマンドを実行中のため、コマンドを処理することができません。 7 = 入力タイミングの自動計測に失敗しました。 8 = シンク機器からの EDID の読み出しに失敗しました。 9 = なし 10 = 制御コマンドが停止条件により停止しました。 11 = 制御コマンドがリトライオーバーにより停止しました。 12 = PJLink の制御コマンドがパスワードの不一致により停止しました。 13 = キャプチャする入力映像のサイズが確保されているメモリのサイズより大きいため、キャプチャすることができません。 14 = 入力映像のキャプチャに失敗しました。 	
実行例	@IOS  @ERR,2 	@IOS コマンド送信。 コマンド書式エラー
備考	—	

3.3.2 電源スイッチ

@GDS / @SDS	シンク機器電源スイッチ	
機能	取得	設定
書式	@GDS [↵]	@SDS, ch_1, onoff_1 (, ch_2, onoff_2) [↵]
返り値	@GDS, onoff_1 (, onoff_2) [↵]	@SDS, ch_1, onoff_1 (, ch_2, onoff_2) [↵]
パラメータ	onoff_1-2 : シンク機器電源スイッチ 0 = OFF, 1 = ON	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GDS [↵] @GDS,1,1 [↵]	シンク機器電源スイッチの状態を取得。 OUT1 および OUT2 のシンク機器電源ス イッチは ON。
	@SDS,1,1 [↵] @SDS,1,1 [↵]	OUT1 に接続されたシンク機器電源ス イッチを ON に設定。 正常終了。
備考	電源の制御が終了してから実行結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。	

3.3.3 入力チャンネル選択

@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切換		
機能	取得	設定
書式	@GSW Ⓡ	@SSW, input_1, output_1 (, input_2, output_2) Ⓡ
返り値	@GSW, video_1, audio_1 (, video_2, audio_2) Ⓡ	@SSW, input_1, output_1 (, input_2, output_2) Ⓡ
パラメータ	video_1-2 : 映像入力チャンネル audio_1-2 : 音声入力チャンネル input_1-2 : 映像・音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5	
	output_1-2 : 映像・音声出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GSW Ⓡ @GSW,2,2,0,0 Ⓡ	入力チャンネルの状態を取得。 OUT1 の入力チャンネルは映像・音声ともに IN2、OUT2 の入力チャンネルは映像・音声ともに OFF。
	@SSW,1,1 Ⓡ @SSW,1,1 Ⓡ	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択。 正常終了。
備考	—	

@GSV / @SSV 映像チャンネル切換		
機能	取得	設定
書式	@GSV Ⓡ	@SSV, input_1, output_1 (, input_2, output_2) Ⓡ
返り値	@GSV, input_1 (, input_2) Ⓡ	@SSV, input_1, output_1 (, input_2, output_2) Ⓡ
パラメータ	input_1-2 : 映像入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5	
	output_1-2 : 映像出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GSV Ⓡ @GSV,1,1 Ⓡ	映像入力チャンネルの状態を取得。 OUT1 および OUT2 の入力チャンネルは IN1。
	@SSV,1,1 Ⓡ @SSV,1,1 Ⓡ	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択。 正常終了。
備考	—	

@GSA / @SSA	音声チャンネル切換	
機能	取得	設定
書式	@GSA [↵]	@SSA, input_1, output_1 (, input_2, output_2) [↵]
返り値	@GSA, input_1 (, input_2) [↵]	@SSA, input_1, output_1 (, input_2, output_2) [↵]
パラメータ	input_1-2 : 音声入力チャンネル 0 = OFF ※初期値, 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5	
	output_1-2 : 音声出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GSA [↵] @GSA,1,1 [↵]	音声入力チャンネルの状態を取得。 OUT1 および OUT2 の入力チャンネルは IN1。
	@SSA,1,1 [↵] @SSA,1,1 [↵]	OUT1 の入力チャンネルに IN1 を選択。 正常終了。
備考	—	

3.3.4 画角設定

@GOT / @SOT	出力解像度	
機能	取得	設定
書式	@GOT <input type="checkbox"/>	@SOT, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GOT, resolution_1 (, resolution_2) <input type="checkbox"/>	@SOT, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	resolution_1-2 : 出力解像度	
	0 = AUTO-A ※初期値, 2 = VGA@60 (640x480), 4 = XGA@60 (1024x768), 6 = WXGA@60 (1280x800), 8 = SXGA@60 (1280x1024), 10 = WXGA@60 (1366x768), 12 = WXGA+@60 (1440x900), 14 = UXGA@60 (1600x1200), 16 = VESAHD@60 (1920x1080), 18 = QWXGA@60 (2048x1152), 20 = 480p@59.94 (720x480), 22 = 576p@50 (720x576), 24 = 720p@59.94 (1280x720), 26 = 1080i@50 (1920x1080), 28 = 1080i@60 (1920x1080), 30 = 1080p@59.94 (1920x1080),	1 = AUTO-B, 3 = SVGA@60 (800x600), 5 = WXGA@60 (1280x768), 7 = Quad-VGA@60 (1280x960), 9 = WXGA@60 (1360x768), 11 = SXGA+@60 (1400x1050), 13 = WXGA++@60 (1600x900), 15 = WSXGA+@60 (1680x1050), 17 = WUXGA@60 (1920x1200), 19 = 480i@59.94 (720x480), 21 = 576i@50 (720x576), 23 = 720p@50 (1280x720), 25 = 720p@60 (1280x720), 27 = 1080i@59.94 (1920x1080), 29 = 1080p@50 (1920x1080), 31 = 1080p@60 (1920x1080)
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GOT <input type="checkbox"/> @GOT,7,30 <input type="checkbox"/>	出力解像度を取得。 OUT1 は Quad-VGA、OUT2 は 1080p 59.94Hz。
	@SOT,1,11 <input type="checkbox"/> @SOT,1,11 <input type="checkbox"/>	OUT1 の出力解像度を SXGA+に設定。 正常終了。
備考	-	

@GAP / @SAP	アスペクト比	
機能	取得	設定
書式	@GAP [↵]	@SAP, ch_1, aspect_1 (, ch_2, aspect_2···) [↵]
返り値	@GAP, aspect_1, aspect_2, aspect_3, aspect_4, aspect_5 [↵]	@SAP, ch_1, aspect_1 (, ch_2, aspect_2···) [↵]
パラメータ	aspect_1-5 : アスペクト比 0 = AUTO-1 ※初期値, 1 = AUTO-2, 2 = 4:3, 3 = 16:9, 4 = 14:9, 5 = 16:9 LETTER BOX, 6 = 14:9 LETTER BOX, 7 = 4:3 SIDE PANEL, 8 = 14:9 SIDE PANEL, 9 = FULL, 10 = THROUGH	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GAP [↵] @GAP,0,0,2,0,0 [↵]	アスペクト比を取得。 IN3 は 4:3、その他の入力は AUTO-1。
	@SAP,5,2 [↵] @SAP,5,2 [↵]	IN5 のアスペクト比を 4:3 に設定。 正常終了。
備考	-	

@GAR / @SAR	アスペクト比復元処理	
機能	取得	設定
書式	@GAR [↵]	@SAR, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2···) [↵]
返り値	@GAR, mode_1, mode_2, mode_3, mode_4, mode_5 [↵]	@SAR, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2···) [↵]
パラメータ	mode_1-5 : アスペクト比復元処理 0 = レターボックス/サイドパネル ※初期値, 1 = サイドカット/トップボトムカット	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GAR [↵] @GAR,0,0,1,0,0 [↵]	アスペクト比の復元処理を取得。 IN3 は サイドカット/トップボトムカット、その他の入力はレターボックス/サイドパネル。
	@SAR,5,1 [↵] @SAR,5,1 [↵]	IN5 をサイドカット/トップボトムカットに設定。 正常終了。
備考	-	

@GOV / @SOV		オーバースキャン
機能	取得	設定
書式	@GOV [↵]	@SOV, ch_1, overscan_1 (, ch_2, overscan_2···) [↵]
返り値	@GOV, overscan_1, overscan_2, overscan_3, overscan_4, overscan_5 [↵]	@SOV, ch_1, overscan_1 (, ch_2, overscan_2···) [↵]
パラメータ	overscan_1-5 : オーバースキャン 100% ~ 115% ※初期値 NTSC / PAL / SDTV : 105%, HDTV またはパソコン : 100%	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GOV [↵] @GOV,100,100,105,100,100 [↵]	オーバースキャンを取得。 IN3 は 105%、その他の入力は 100%。
	@SOV,2,105 [↵] @SOV,2,105 [↵]	IN2 のオーバースキャンを 105%に設定。 正常終了。
備考	-	

@GNP / @SNP		入力表示位置
機能	取得	設定
書式	@GNP [↵]	@SNP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2···) [↵]
返り値	@GNP, h_position_1, v_position_1, h_position_2, v_position_2, h_position_3, v_position_3, h_position_4, v_position_4, h_position_5, v_position_5 [↵]	@SNP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2···) [↵]
パラメータ	h_position_1-5 : 水平入力表示位置 - 水平入力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	v_position_1-5 : 垂直入力表示位置 - 垂直入力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GNP [↵] @GNP,-50,20,0,0,0,0,0,0,0 [↵]	入力表示位置を取得。 IN1 の水平入力表示位置は-50、垂直入力表示位置は+20、その他の入力の水平、垂直入力表示位置はすべて 0。
	@SNP,1,-50,20 [↵] @SNP,1,-50,20 [↵]	IN1 の水平入力表示位置を-50、垂直入力表示位置を+20 に設定。 正常終了。
備考	出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります。	

@GNS / @SNS	入力表示サイズ	
機能	取得	設定
書式	@GNS [↵]	@SNS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]
返り値	@GNS, h_size_1, v_size_1, h_size_2, h_size_2, h_size_3, h_size_3, h_size_4, h_size_4, h_size_5, h_size_5 [↵]	@SNS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2...) [↵]
パラメータ	h_size_1-5 : 水平入力表示サイズ 水平出力解像度÷4 ~ 水平出力解像度×4 ※初期値 水平出力解像度	
	v_size_1-5 : 垂直入力表示サイズ 垂直出力解像度÷4 ~ 垂直出力解像度×4 ※初期値 垂直出力解像度	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GNS [↵] @GNS,1925,1084,1920,1080,1920, 1080,1920,1080,1920,1080 [↵]	入力表示サイズを取得。 IN1 の水平入力表示サイズは 1925、垂直入力表示サイズは 1084、その他の入力チャンネルの水平入力表示サイズは 1920、垂直入力表示サイズは 1080。
	@SNS,1,1925,1084 [↵]	IN1 の水平入力表示サイズを 1925、垂直入力表示サイズを 1084 に設定。
	@SNS,1,1925,1084 [↵]	正常終了。
備考	出力ごとに解像度が異なる場合は、OUT1 の出力解像度が基準になります。	

@GNM / @SNM	入カマスキング	
機能	取得	設定
書式	@GNM, ch [↵]	@SNM, ch, left, right, top, bottom [↵]
返り値	@GNM, ch, left, right, top, bottom [↵]	@SNM, ch, left, right, top, bottom [↵]
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 5 = IN5 left : 入力左側マスキング 水平入力表示位置 ~ 入力右側マスキング ※初期値 0 right : 入力右側マスキング 入力左側マスキング ~ 水平入力表示位置+水平入力表示サイズ ※初期値 水平入力表示サイズ top : 入力上側マスキング 垂直入力表示位置 ~ 入力下側マスキング ※初期値 0 bottom : 入力下側マスキング 入力上側マスキング ~ 垂直入力表示位置+垂直入力表示サイズ ※初期値 垂直入力表示サイズ	
実行例	@GNM,1 [↵] @GNM,1,0,1920,0,1080 [↵] @SNM,1,0,1920,0,1080 [↵] @SNM,1,0,1920,0,1080 [↵]	IN1 の入カマスキングを取得。 左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。 IN1 の入カマスキングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定。 正常終了。
備考	—	

@IAS	入力オートサイジング	
機能	設定	
書式	@IAS, ch_1 (, ch_2...) [↵]	
返り値	@IAS, ch_1 (, ch_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@IAS,1 [↵] @IAS,1 [↵]	IN1 から入力された映像がシンク機器いっぱいに表示されるよう、次の項目を初期化。 @GAP / @SAP アスペクト比 (P.23) @GOV / @SOV オーバースキャン (P.24) @GNP / @SNP 入力表示位置 (P.24) @GNS / @SNS 入力表示サイズ (P.25) @GNM / @SNM 入カマスキング (P.26) 正常終了。
備考	—	

@GOP / @SOP	出力表示位置	
機能	取得	設定
書式	@GOP [↵]	@SOP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2) [↵]
返り値	@GOP, h_position_1, v_position_1 (, h_position_2, v_position_2) [↵]	@SOP, ch_1, h_position_1, v_position_1 (, ch_2, h_position_2, v_position_2) [↵]
パラメータ	h_position_1-2 : 水平出力表示位置 - 水平出力表示サイズ設定 ~ + 水平出力解像度 ※初期値 0	
	v_position_1-2 : 垂直出力表示位置 - 垂直出力表示サイズ設定 ~ + 垂直出力解像度 ※初期値 0	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GOP [↵] @GOP,5,20,0,0 [↵]	出力表示位置を取得。 OUT1 の水平表示位置は+5、垂直表示位置は+20、OUT2 の水平・垂直表示位置はともに 0。
	@SOP,1,5,20 [↵]	OUT1 の水平表示位置を+5、垂直表示位置を+20 に設定。
	@SOP,1,5,20 [↵]	正常終了。
備考	-	

@GOS / @SOS	出力表示サイズ	
機能	取得	設定
書式	@GOS [↵]	@SOS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2) [↵]
返り値	@GOS, h_size_1, v_size_1 (, h_size_2, v_size_2) [↵]	@SOS, ch_1, h_size_1, v_size_1 (, ch_2, h_size_2, v_size_2) [↵]
パラメータ	h_size_1-2 : 水平出力表示サイズ 水平出力解像度 ÷ 4 ~ 水平出力解像度 × 4 ※初期値 水平出力解像度	
	v_size_1-2 : 垂直出力表示サイズ 垂直出力解像度 ÷ 4 ~ 垂直出力解像度 × 4 ※初期値 垂直出力解像度	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GOS [↵] @GOS,1920,1035,1920,1080 [↵]	出力表示サイズを取得。 OUT1 の水平出力表示サイズは 1920、垂直出力表示サイズは 1035、OUT2 の水平出力表示サイズは 1920、垂直出力表示サイズは 1080。
	@SOS,1,1920,1080 [↵]	OUT1 の水平出力表示サイズを 1920、垂直出力表示サイズを 1080 に設定。
	@SOS,1,1920,1080 [↵]	正常終了。
備考	-	

@GOM / @SOM	出カマスクング	
機能	取得	設定
書式	@GOM, ch <input type="checkbox"/>	@SOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
返り値	@GOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>	@SOM, ch, left, right, top, bottom <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	left : 出力左側マスクング 水平出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力右側マスクング ※初期値 0	
	right : 出力右側マスクング 出力左側マスクング ~ 水平出力表示位置 + 水平出力表示サイズ (ただし水平出力解像度以下) ※初期値 水平出力解像度	
	top : 出力上側マスクング 垂直出力表示位置 (ただし 0 以上) ~ 出力下側マスクング ※初期値 0	
	bottom : 出力下側マスクング 出力上側マスクング ~ 垂直出力表示位置 + 垂直出力表示サイズ (ただし垂直出力解像度以下) ※初期値 垂直出力解像度	
実行例	@GOM,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の出カマスクングを取得。
	@GOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>	左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080。
	@SOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>	OUT1 の出カマスクングを、左側 0、右側 1920、上側 0、下側 1080 に設定。
	@SOM,1,0,1920,0,1080 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	-	

@OAS	出力オートサイジング	
機能	設定	
書式	@OAS, ch_1 (, ch_2) <input type="checkbox"/>	
返り値	@OAS, ch_1 (, ch_2) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@OAS,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の出力映像がシンク機器いっぱいに表示されるよう、次の項目を初期化。 @GOP / @SOP 出力表示位置 (P.27) @GOS / @SOS 出力表示サイズ (P.27) @GOM / @SOM 出カマスクング (P.28)
	@OAS,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	-	

@GBC / @SBC	バックカラー	
機能	取得	設定
書式	@GBC, ch <input type="checkbox"/>	@SBC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GBC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SBC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	red / red_1-2 : バックカラー (赤) green / green_1-2 : バックカラー (緑) blue / blue_1-2 : バックカラー (青) 0 ~ 255 ※初期値 0 (黒)	
実行例	@GBC,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 のバックカラーを取得。
	@GBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	RGB とともに 128 (灰色)。
	@SBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	OUT1 のバックカラーを RGB とともに 128 (灰色)に設定。
	@SBC,1,128,128,128 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

@GTP / @STP	テストパターン	
機能	取得	設定
書式	@GTP [↵]	@STP, ch_1, pattern_1, scroll_1 (, ch_2, pattern_2, scroll_2) [↵]
返り値	@GTP, pattern_1, scroll_1 (, pattern_2, scroll_2) [↵]	@STP, ch_1, pattern_1, scroll_1 (, ch_2, pattern_2, scroll_2) [↵]
パラメータ	pattern_1-2 : テストパターン 0 = OFF ※初期値, 1 = VERTICAL COLOR BAR, 2 = HORIZONTAL COLOR BAR, 3 = VERTICAL GRAY SCALE, 4 = HORIZONTAL GRAY SCALE, 5 = VERTICAL LAMP, 6 = HORIZONTAL LAMP, 7 = 100% WHITE RASTER, 8 = 50% WHITE RASTER, 9 = 100% RED RASTER, 10 = 100% GREEN RASTER, 11 = 100% BLUE RASTER, 12 = CROSS HATCH, 13 = OUTPUT FRAME, 14 = VERTICAL STRIPE, 15 = HORIZONTAL STRIPE, 16 = VERTICAL ZEBRA, 17 = HORIZONTAL ZEBRA テストパターン番号 1 ~ 6、16、17 は、スクロールができます。	
	scroll_1-2 : スクロール 0 = OFF ※ 初期値, 1 = 3 ピクセル/フレーム ~ 10 = 30 ピクセル/フレーム 1 フレームごとにスクロールするピクセル数は、「設定値×3」の値です。	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GTP [↵] @GTP,3,1,0,0 [↵]	テストパターンの出力設定を取得。 OUT1 は VERTICAL GRAY SCALE を 3 ピクセル/フレームでスクロールし、 OUT2 はテストパターンを出力しない。
	@STP,1,1,0 [↵] @STP,1,1,0 [↵]	OUT1 に VERTICAL COLOR BAR を表示 し、スクロールしない。 正常終了。
備考	—	

3.3.5 画質設定

@GFL / @SFL	シャープネス	
機能	取得	設定
書式	@GFL [↵]	@SFL, ch_1, sharp_1 (, ch_2, sharp_2···) [↵]
返り値	@GFL, sharp_1, sharp_2, sharp_3, sharp_4, sharp_5 [↵]	@SFL, ch_1, sharp_1 (, ch_2, sharp_2···) [↵]
パラメータ	sharp_1-5 : シャープネス -5 ~ +15 ※初期値 0	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GFL [↵]	シャープネス設定を取得。
	@GFL,5,0,0,0,0 [↵]	IN1 は+5、その他の入力チャンネルは0。
	@SFL,1,5 [↵] @SFL,1,5 [↵]	IN1 のシャープネスを+5 に設定。 正常終了。
備考	—	

@GBR / @SBR	入力ブライトネス	
機能	取得	設定
書式	@GBR [↵]	@SBR, ch_1, bright_1 (, ch_2, bright_2···) [↵]
返り値	@GBR, bright_1, bright_2, bright_3, bright_4, bright_5 [↵]	@SBR, ch_1, bright_1 (, ch_2, bright_2···) [↵]
パラメータ	bright_1-5 : 入力ブライトネス 80 ~ 120 ※初期値 100	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GBR [↵]	ブライトネス設定を取得。
	@GBR,110,100,100,100,100 [↵]	IN1 は 110%、その他の入力チャンネルは 100%。
	@SBR,3,110 [↵] @SBR,3,110 [↵]	IN3 のブライトネスを 110% に設定。 正常終了。
備考	—	

@GCO / @SCO	入力コントラスト	
機能	取得	設定
書式	@GCO, ch <input type="checkbox"/>	@SCO, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GCO, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SCO, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
	red / red_1-5 : 入力コントラスト (赤) green / green_1-5 : 入力コントラスト (緑) blue / blue_1-5 : 入力コントラスト (青) 0 ~ 200 ※初期値 100	
実行例	@GCO,3 <input type="checkbox"/>	IN3 のコントラスト設定を取得。
	@GCO,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>	赤 105%、緑 100%、青 95%。
	@SCO,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>	IN3 のコントラストを赤 105%、緑 100%、 青 95%に設定。
	@SCO,3,105,100,95 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

@GHU / @SHU	色相	
機能	取得	設定
書式	@GHU <input type="checkbox"/>	@SHU, ch_1, hue_1 (, ch_2, hue_2...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GHU, hue_1, hue_2, hue_3, hue_4, hue_5 <input type="checkbox"/>	@SHU, ch_1, hue_1 (, ch_2, hue_2...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	hue_1-5 : 色相 0 ~ 359 ※初期値 0	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GHU <input type="checkbox"/>	色相設定を取得。
	@GHU,60,0,0,0,0 <input type="checkbox"/>	IN1 は 60°、その他の入力は 0°。
	@SHU,1,60 <input type="checkbox"/>	IN1 の色相を 60° に設定。
	@SHU,1,60 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

@GST / @SST	彩度	
機能	取得	設定
書式	@GST [↵]	@SST, ch_1, saturation_1 (, ch_2, saturation_2···) [↵]
返り値	@GST, saturation_1, saturation_2, saturation_3, saturation_4, saturation_5 [↵]	@SST, ch_1, saturation_1 (, ch_2, saturation_2···) [↵]
パラメータ	saturation_1-5 : 彩度 0 ~ 200 ※初期値 100	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GST [↵]	彩度を取得。
	@GST,100,100,100,100,105 [↵]	IN5 は 105%、その他の入力は 100%。
	@SST,5,105 [↵] @SST,5,105 [↵]	IN5 の彩度を 105%に設定。 正常終了。
備考	—	

@GSU / @SSU	セットアップレベル	
機能	取得	設定
書式	@GSU [↵]	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2···) [↵]
返り値	@GSU, setup_1, setup_2, setup_3, setup_4, setup_5 [↵]	@SSU, ch_1, setup_1 (, ch_2, setup_2···) [↵]
パラメータ	setup_1-5 : セットアップレベル -20 = -20 × 0.5 (-10.0 %) ~ +20 = +20 × 0.5 (+10.0 %) ※初期値 ±0 = ±0.0 %	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GSU [↵]	セットアップレベルを取得。
	@GSU,0,0,0,0,15 [↵]	IN5 は+7.5 %、その他の入力は 0 %。
	@SSU,5,15 [↵] @SSU,5,15 [↵]	IN5 のセットアップレベルを+7.5 %に設定。 正常終了。
備考	—	

@GOC / @SOC		出力コントラスト	
機能	取得	設定	
書式	@GOC, ch <input type="checkbox"/>	@SOC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>	
返り値	@GOC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SOC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
	red / red_1-2 : 出力コントラスト (赤) green / green_1-2 : 出力コントラスト (緑) blue / blue_1-2 : 出力コントラスト (青) 0 ~ 200 ※初期値 100		
実行例	@GOC,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 のコントラスト設定を取得。	
	@GOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	赤 105%、緑 100%、青 95%。	
	@SOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	OUT1 のコントラストを赤 105%、緑 100%、青 95%に設定。	
	@SOC,1,105,100,95 <input type="checkbox"/>	正常終了。	
備考	—		

@ODC		出力デフォルトカラー	
機能	設定		
書式	@ODC, ch_1 (, ch_2) <input type="checkbox"/>		
返り値	@ODC, ch_1 (, ch_2) <input type="checkbox"/>		
パラメータ	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@ODC,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の画質設定を初期化する。	
	@ODC,1 <input type="checkbox"/>	@GOB / @SOB 出力ブライトネス (P.34) @GOC / @SOC 出力コントラスト (P.35) 正常終了。	
備考	—		

3.3.6 入力設定

@GDT / @SDT		映像信号の無入力監視	
機能	取得	設定	
書式	@GDT [↵]	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) [↵]	
返り値	@GDT, time_1, time_2, time_3 [↵]	@SDT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2···) [↵]	
パラメータ	time_1-3 : 無入力監視時間 0 = OFF, 2000 = 2 秒 ~ 15000 = 15 秒 ※初期値 10000 = 10 秒 100 ms 単位で設定し、下 2 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 2955 と指定すると、2900 ms に設定されます)		
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3		
実行例	@GDT [↵]	入力映像信号の無入力監視時間を取得。	
	@GDT,6000,10000,10000 [↵]	IN1 は 6000 ms (6 秒)、IN2 と IN3 は 10000 ms (10 秒)。	
	@SDT,3,6000 [↵]	IN3 の無入力監視時間を 6000 ms (6 秒) に設定。	
	@SDT,3,6000 [↵]	正常終了。	
備考	デジタル入力専用のコマンドです。		

@GHE / @SHE		HDCP 入力の禁止 / 許可	
機能	取得	設定	
書式	@GHE [↵]	@SHE, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) [↵]	
返り値	@GHE, hdcp_1, hdcp_2, hdcp_3 [↵]	@SHE, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) [↵]	
パラメータ	in_1-3 : HDCP 入力の許可 / 禁止 0 = DISABLE (禁止), 1 = ENABLE (許可) ※初期値		
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3		
実行例	@GHE [↵]	HDCP 入力の許可 / 禁止設定を取得。	
	@GHE,1,1,0 [↵]	IN3 は HDCP 入力を禁止する、その他の入力は HDCP 入力を許可する。	
	@SHE,1,0 [↵]	IN1 の HDCP 入力を禁止。	
	@SHE,1,0 [↵]	正常終了。	
備考	デジタル入力専用のコマンドです。		

@GIQ / @SIQ	入カイコライザ	
機能	取得	設定
書式	@GIQ <input type="checkbox"/>	@SIQ, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2····) <input type="checkbox"/>
返り値	@GIQ, level_1, level_2, level_3 <input type="checkbox"/>	@SIQ, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2····) <input type="checkbox"/>
パラメータ	level_1-3 : 入カイコライザ 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3	
実行例	@GIQ <input type="checkbox"/> @GIQ,0,1,1 <input type="checkbox"/>	入カイコライザを取得。 IN1 は入カイコライザ OFF、その他の入力は入カイコライザ ON。
	@SIQ,3,0 <input type="checkbox"/> @SIQ,3,0 <input type="checkbox"/>	IN3 の入カイコライザを OFF に設定。 正常終了。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。	

@GAI / @SAI	アナログ入力の信号種別	
機能	取得	設定
書式	@GAI <input type="checkbox"/>	@SAI, ch_1, type_1 (, ch_2, type_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GAI, type_1, type_2 <input type="checkbox"/>	@SAI, ch_1, type_1 (, ch_2, type_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	type_1-2 : 信号種別 0 = AUTO ※初期値, 1 = RGB, 2 = YPbPr, 3 = VIDEO AUTO, 4 = VIDEO, 5 = Y/C	
	ch_1-2 : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 4 = IN4, 5 = IN5	
実行例	@GAI <input type="checkbox"/> @GAI,0,2 <input type="checkbox"/>	アナログ入力の信号種別を取得。 IN4 は AUTO、IN5 は YPbPr。
	@SAI,0,2 <input type="checkbox"/> @SAI,0,2 <input type="checkbox"/>	全入力の信号種別を YPbPr に設定。 正常終了。
備考	アナログ入力専用のコマンドです。	

@GID / @SID	入力映像信号 OFF の自動検出	
機能	取得	設定
書式	@GID [↵]	@SID, ch_1, detect_1 (, ch_2, detect_2···) [↵]
返り値	@GID, detect_1, detect_2, detect_3, detect_4, detect_5 [↵]	@SID, ch_1, detect_1 (, ch_2, detect_2···) [↵]
パラメータ	detect_1-5 : 自動検出 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GID [↵]	入力映像信号 OFF の自動検出設定を取得。 IN2 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。その他の入力は OFF にする。
	@GID,1,0,1,1,1 [↵]	
	@SID,2,0 [↵]	IN2 は入力映像信号が途切れた場合に、瞬時に映像出力を OFF にしない。 正常終了。
	@SID,2,0 [↵]	
備考	—	

@GFX / @SFX	入力信号ごと設定の固定	
機能	取得	設定
書式	@GFX ch [↵]	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]
返り値	@GFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]	@SFX, ch, mode (, aspect, analog, audio) [↵]
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
	mode : 設定モード 0 = SELECTED, 1 = ALL FIXED	
	設定モードが 0 = SELECTED 時のみ設定可能です。 aspect : アスペクト比 0 = OFF ※初期値, 1 = ON(FIXED) analog : アナログ入力の信号種別 (デジタル入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値 audio : 音声入力レベル (アナログ入力の場合 “0” を設定してください) 0 = OFF, 1 = ON(FIXED) ※初期値	
実行例	@GFX, 5 [↵] @GFX, 5, 0, 1, 0, 0 [↵]	入力信号ごと設定の固定を取得。 (アナログ入力の場合) IN5 のアスペクト比は現在の設定に固定、 アナログ入力の信号種別は入力信号ごとの設定を使用する。 音声入力レベルは無効。
	@SFX,2,1 [↵] @SFX,2,1 [↵]	IN2 は入力信号ごと設定を現在の設定に固定。 正常終了。
備考	デジタル入力チャンネルの取得時、アナログ信号の信号種別のパラメータは必ず “0” が返信され、無効な値となります。 アナログ入力チャンネルの取得時、音声入力レベルのパラメータは必ず “0” が返信され、無効な値となります。	

3.3.7 入力タイミング設定

@AIS / @AIT	自動計測	
機能	取り込み開始位置と表示期間の自動計測	アスペクト比を考慮した自動計測
書式	@AIS, ch [↵]	@AIT, ch [↵]
返り値	@AIS, ch [↵]	@AIT, ch (, mode) [↵]
パラメータ	ch : 入力チャンネル 4 = IN4, 5 = IN5 mode : 計測モード -1 = NEXT ASPECT, 0 = 4:3, 1 = 5:4, 2 = 5:3, 3 = 16:9, 4 = 16:10 “NEXT ASPECT” を指定した場合は、実行するたびに次のアスペクト比が順番に選択されます。また、計測モードを省略した場合は、“NEXT ASPECT” モードで実行します	
実行例	@AIS,4 [↵] @AIS,4 [↵] @AIT,4,0 [↵] @AIT,4,0 [↵] @AIS,4 [↵] @ERR,7 [↵]	IN4 の取り込み開始位置と表示期間設定を自動計測。 正常終了。 IN4 の入力タイミング設定を “4:3” のアスペクト比で自動計測。 正常終了。 自動計測に失敗すると、エラーが返信されます。
備考	アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GHT / @SHT	水平総ドット数	
機能	取得	設定
書式	@GHT [↵]	@SHT, ch, h_total [↵]
返り値	@GHT, h_total_1, h_total_2, h_total_3, h_total_4, h_total_5 [↵]	@SHT, ch, h_total [↵]
パラメータ	h_total_1-5 / h_total : 水平総ドット数 400 ~ 4125 (ただしサンプリングクロックが 13 MHz ~ 162 MHz の範囲内) ※初期値 入力された信号により異なります。 ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 4 = IN4, 5 = IN5	
実行例	@GHT [↵] @GHT,2200,2200,0,2640,1344 [↵] @SHT,5,1344 [↵] @SHT,5,1344 [↵] @SHT,5,1344 [↵] @ERR,3 [↵]	水平総ドット数を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返信されます。 IN5 の水平総ドット数を 1344 に設定。 正常終了。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。
備考	取得コマンドは、全入力チャンネルの状態を取得します。 設定コマンドは、アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

@GHS / @SHS		水平取り込み開始位置	
機能	取得	設定	
書式	@GHS [↵]	@SHS, ch, h_start [↵]	
返り値	@GHS, h_start_1, h_start_2, h_start_3, h_start_4, h_start_5 [↵]	@SHS, ch, h_start [↵]	
パラメータ	h_start_1-5 / h_start : 水平取り込み開始位置 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-水平表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります。		
	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5		
実行例	@GHS [↵] @GHS,192,192,496,0,296 [↵]	水平取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返信されます。	
	@SHS,5,296 [↵] @SHS,5,296 [↵]	IN5 の水平取り込み開始位置を 296 に設定。 正常終了。	
	@SHS,5,296 [↵] @ERR,3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。	
備考	設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GHD / @SHD		水平表示期間	
機能	取得	設定	
書式	@GHD [↵]	@SHD, ch, h_disp [↵]	
返り値	@GHD, h_disp_1, h_disp_2, h_disp_3, h_disp_4, h_disp_5 [↵]	@SHD, ch, h_disp [↵]	
パラメータ	h_disp_1-5 / h_disp : 水平表示期間 64 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-64 以下) ※初期値 入力された信号により異なります。		
	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5		
実行例	@GHD [↵] @GHD,1920,1920,0,1920,1024 [↵]	水平表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは 0 が返信されます。	
	@SHD,5,1024 [↵] @SHD,5,1024 [↵]	IN5 の水平表示期間を 1024 に設定。 正常終了。	
	@SHD,5,1024 [↵] @ERR,3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラーが返信されます。	
備考	設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GVS / @SVS		垂直取り込み開始位置	
機能	取得	設定	
書式	@GVS [↵]	@SVS, ch, v_start [↵]	
返り値	@GVS, v_start_1, v_start_2, v_start_3, v_start_4, v_start_5 [↵]	@SVS, ch, v_start [↵]	
パラメータ	v_start_1-5 / v_start : 垂直取り込み開始位置 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-垂直表示期間以下) ※初期値 入力された信号により異なります。		
	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5		
実行例	@GVS [↵] @GVS,40,0,40,40,35 [↵]	垂直取り込み開始位置を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0 が返信されます。	
	@SVS,5,35 [↵] @SVS,5,35 [↵]	IN5 の垂直取り込み開始位置を 35 に設 定。 正常終了。	
	@SVS,5,35 [↵] @ERR,3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラー が返信されます。	
備考	設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GVD / @SVD		垂直表示期間	
機能	取得	設定	
書式	@GVD [↵]	@SVD, ch, v_disp [↵]	
返り値	@GVD, v_disp_1, v_disp_2, v_disp_3, v_disp_4, v_disp_5 [↵]	@SVD, ch, v_disp [↵]	
パラメータ	v_disp_1-5 / v_disp : 垂直表示期間 10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下) ※初期値 入力された信号により異なります。		
	ch : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5		
実行例	@GVD [↵] @GVD,0,1080,1080,900,768 [↵]	垂直表示期間を取得。 信号が入力されていないチャンネルは0 が返信されます。	
	@SVD,5,768 [↵] @SVD,5,768 [↵]	IN5 の垂直表示期間を 768 に設定。 正常終了。	
	@SVD,5,768 [↵] @ERR,3 [↵]	信号が入力されていない場合は、エラー が返信されます。	
備考	設定コマンドは、信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。		

@GIS / @SIS	取り込み開始位置の自動計測	
機能	取得	設定
書式	@GIS [↵]	@SIS, ch, mode [↵]
返り値	@GIS, mode_1, mode_2 [↵]	@SIS, ch, mode [↵]
パラメータ	mode_1-2 / mode : 自動計測 0 = この入力チャンネルからの入力はすべて自動計測しない, 1 = 現在の入力信号は自動計測しない, 2 = 現在の入力信号は自動計測する ※初期値	
	ch : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 4 = IN4, 5 = IN5	
実行例	@GIS [↵]	取り込み開始位置の自動計測設定を取得。
	@GIS,0,2 [↵]	IN4 は自動計測しない、IN5 は自動計測する。
	@SIS,4,1 [↵]	IN4 から現在入力されている信号は自動計測しない。
	@SIS,4,1 [↵]	正常終了。
備考	アナログ入力専用のコマンドです。	

@GSM / @SSM	未登録信号入力時の自動計測	
機能	取得	設定
書式	@GSM [↵]	@SSM, mode [↵]
返り値	@GSM, mode [↵]	@SSM, mode [↵]
パラメータ	mode : 自動計測 0 = 実行しない, 1 = 実行する ※初期値	
実行例	@GSM [↵]	未登録信号が入力された場合の自動計測の実行を取得。
	@GSM,1 [↵]	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
	@SSM,1 [↵]	未登録信号が入力された場合に自動計測を実行する。
	@SSM,1 [↵]	正常終了。
備考	—	

@RTT	機種データの読み出し	
機能	設定	
書式	@RTT, ch (, table) 	
返り値	@RTT, ch (, table) 	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
	table : 機種テーブル 1 ~ 99 (登録した機種データ), 100 ~ 100+n (本機にあらかじめ登録されている機種データで、nは入力されている信号により異なりますが大半は0です) 機種テーブルは、アナログ入力の場合のみ指定します。	
実行例	@RTT,1 	IN1 の入力タイミング設定を本機が自動検出した値に初期化。 正常終了。
	@RTT,1 	
	@RTT,4,2 	IN4 の入力タイミング設定を機種テーブル 2 に保存された内容に設定。 正常終了。
	@RTT,4,2 	
備考	入力信号がある場合のみ有効なコマンドです。 またアナログ入力の場合は、入力された信号に対する機種データが登録されている場合のみ有効なコマンドです。	

@STT	機種データの登録	
機能	保存	
書式	@STT, ch, table (, name) 	
返り値	@STT, ch, table (, name) 	
パラメータ	ch : 入力チャンネル 4 = IN4, 5 = IN5	
	table : 機種テーブル 1 ~ 99	
	name : 機種テーブル名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 14 文字まで 機種テーブル名は省略可能です。 省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入力タイミング設定のみ保存します。ただし、現在保存されている名前がなかった場合は、自動的に解像度を機種テーブル名として保存します。	
実行例	@STT,4,2  @STT,4,2 	現在の IN4 の入力タイミング設定を、機種テーブル 2 に機種テーブル名を変更せずに保存する。
	@STT,4,2,XGA 60Hz  @STT,4,2,XGA 60Hz 	
	備考	アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。

@GTK / @STK	トラッキング	
機能	取得	設定
書式	@GTK [↵]	@STK, ch_1, track_1 (, ch_2 , track_2) [↵]
返り値	@GTK, track_1, track_2 [↵]	@STK, ch_1, track_1 (, ch_2 , track_2) [↵]
パラメータ	track_1-2 : トラッキング 0 ~ 63 ※初期値 0	
	ch_1-2 : 入力チャンネル 0 = 全アナログ入力, 4 = IN4, 5 = IN5	
実行例	@GTK [↵] @GTK,4,0 [↵]	トラッキングを取得。 アナログ RGB 信号またはアナログ YPbPr 信号が入力されていない場合は 0 が返信されます。
	@STK,5,4 [↵] @STK,5,4 [↵]	IN5 のトラッキングを 4 に設定。 正常終了。
備考	アナログ RGB / アナログ YPbPr 信号が入力されている場合のみ有効なコマンドです。	

3.3.8 出力設定

@GEQ / @SEQ	出カイコライザ	
機能	取得	設定
書式	@GEQ [↵]	@SEQ, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2) [↵]
返り値	@GEQ, level_1 (, level_2) [↵]	@SEQ, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2) [↵]
パラメータ	level_1-2 : 出カイコライザ 0 = OFF ※初期値, 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
	ch_1-2 : 出力コネクタ 0 = 全 HDMI 出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT2A	
実行例	@GEQ [↵]	出カイコライザを取得。
	@GEQ,0,1 [↵]	OUT1A は OFF、OUT2A は LOW。
	@SEQ,1,0 [↵]	OUT1A の出カイコライザを OFF に設定。
	@SEQ,1,0 [↵]	正常終了。
備考	HDMI 出力コネクタ専用のコマンドです。	

@GDM / @SDM	出力モード	
機能	取得	設定
書式	@GDM [↵]	@SDM, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2...) [↵]
返り値	@GDM, mode_1A, mode_1B (, mode_2A, mode_2B) [↵]	@SDM, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2...) [↵]
パラメータ	mode_1A / mode_2A : OUTA の出力モード mode_1B / mode_2B : OUTB の出力モード mode_1-4 : 出力モード 0 = DVI MODE, 1 = HDMI RGB MODE, 2 = HDMI YCbCr4:2:2 MODE, 3 = HDMI YCbCr4:4:4 MODE ※初期値	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GDM [↵]	出力モードを取得。
	@GDM,3,0,3,3 [↵]	OUT1B は DVI MODE、その他の出力は HDMI YCbCr4:4:4 MODE。
	@SDM,1,3 [↵]	OUT1A の出力モードを HDMI YCbCr4:4:4 MODE に設定。
	@SDM,1,3 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GUY / @SUY		映像信号無入力時の同期信号出力	
機能	取得	設定	
書式	@GUY [↓]	@SUY, ch_1, sync_1 (, ch_2, sync_2) [↓]	
返り値	@GUY, sync_1 (, sync_2) [↓]	@SUY, ch_1, sync_1 (, ch_2, sync_2) [↓]	
パラメータ	sync_1-2 : 同期信号出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@GUY [↓]	映像信号無入力時の同期信号出力を取得。 OUT1 は同期信号を出力し、OUT2 は同期信号を出力しない。	
	@GUY,1,0 [↓]		
	@SUY,1,1 [↓]	OUT1 は映像信号が入力されていない場合でも同期信号を出力する。 正常終了。	
	@SUY,1,1 [↓]		
備考	-		

@GBO / @SBO		映像信号無入力時の出力映像	
機能	取得	設定	
書式	@GBO [↓]	@SBO, ch_1, video_1 (, ch_2, video_2) [↓]	
返り値	@GBO, video_1 (, video_2) [↓]	@SBO, ch_1, video_1 (, ch_2, video_2) [↓]	
パラメータ	video_1-2 : 映像信号無入力時の出力映像 0 = ブラック画面, 1 = ブルー画面 ※初期値, 2 = バックカラー画面		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@GBO [↓]	映像信号無入力時の出力映像を取得。 OUT1 はブルー画面を出力する、OUT2 はブラック画面を出力する。	
	@GBO,1,0 [↓]		
	@SBO,1,1 [↓]	OUT1 は映像信号が入力されていない場合にブルー画面を出力する。 正常終了。	
	@SBO,1,1 [↓]		
備考	-		

@GFF / @SFF	映像入力チャンネル切り換え効果	
機能	取得	設定
書式	@GFF [↵]	@SFF, ch_1, switching_1 (, ch_2, switching_2) [↵]
返り値	@GFF, switching_1 (, switching_2) [↵]	@SFF, ch_1, switching_1 (, ch_2, switching_2) [↵]
パラメータ	switching_1-2 : 切り換え効果 0 = カット, 1 = フェードアウト/フェードイン, 2 = フリーズ→フェードアウト/フェードイン ※初期値, 3 = 左→右へワイプ, 4 = 右→左へワイプ, 5 = 上→下へワイプ, 6 = 下→上へワイプ	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GFF [↵]	入力チャンネル切り換え時の効果を取得。 OUT1 はカット、OUT2 はフェードアウト/フェードインにより入力チャンネルを切り換える。
	@GFF,0,1 [↵]	
	@SFF,1,1 [↵]	OUT1 はフェードアウト/フェードインにより入力チャンネルを切り換える。 正常終了。
	@SFF,1,1 [↵]	
備考	—	

@GFT / @SFT	映像入力チャンネル切り換え時間	
機能	取得	設定
書式	@GFT [↵]	@SFT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2) [↵]
返り値	@GFT, time_1 (, time_2) [↵]	@SFT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2) [↵]
パラメータ	time_1-2 : 切り換え時間 100 = 0.1 秒 ~ 2000 = 2 秒 ※初期値 350 = 0.35 秒 10 ms 単位で設定し、下 1 桁に 0 以外を指定した場合は切り捨てられます。 (例えば 395 と指定すると、390 ms に設定されます)	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GFT [↵]	映像入力チャンネルの切り換え時間を取得。 OUT1 は 400 ms、OUT2 は 350 ms。
	@GFT,400,350 [↵]	
	@SFT,1,400 [↵]	OUT1 の映像入力チャンネルの切り換え時間は 400 ms。 正常終了。
	@SFT,1,400 [↵]	
備考	—	

@GWC / @SWC	ワイプカラー	
機能	取得	設定
書式	@GWC, ch <input type="checkbox"/>	@SWC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GWC, ch, red, green, blue <input type="checkbox"/>	@SWC, ch_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, red_2, green_2, blue_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	red / red_1-2 : ワイプカラー (赤) green / green_1-2 : ワイプカラー (緑) blue / blue_1-2 : ワイプカラー (青) 0 ~ 255 ※初期値 0 (黒)	
実行例	@GWC,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 のワイプカラーを取得。
	@GWC,1,255,255,255 <input type="checkbox"/>	RGB とともに 255 (白)。
	@SWC,1,255,255,255 <input type="checkbox"/>	OUT1 のワイプカラーを RGB とともに 255 (白) に設定。
	@SWC,1,255,255,255 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

@GVO / @SVO	映像出力コネクタ	
機能	取得	設定
書式	@GVO <input type="checkbox"/>	@SVO, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GVO, out_1A, out_1B (, out_2A, out_2B) <input type="checkbox"/>	@SVO, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	out_1A / out_2A : OUTA の映像出力 out_1B / out_2B : OUTB の映像出力 out_1-4 : 映像出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GVO <input type="checkbox"/>	映像出力コネクタを取得。
	@GVO,0,1,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1A は映像を出力しない。その他の出力は映像を出力する。
	@SVO,1,1 <input type="checkbox"/> @SVO,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1A は映像を出力する。 正常終了。
備考	—	

@GEN / @SEN	HDCP 出力	
機能	取得	設定
書式	@GEN <input type="checkbox"/>	@SEN, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) <input type="checkbox"/>
返り値	@GEN, hdcp_1A, hdcp_1B (, hdcp_2A, hdcp_2B) <input type="checkbox"/>	@SEN, ch_1, hdcp_1 (, ch_2, hdcp_2···) <input type="checkbox"/>
パラメータ	hdcp_1A / hdcp_2A : OUTA の HDCP 出力 hdcp_1B / hdcp_2B : OUTB の HDCP 出力 hdcp_1-4 : HDCP 出力 0 = 入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力する, 1 = 常時 HDCP 出力する ※初期値, 2 = HDCP の認証をしない	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GEN <input type="checkbox"/> @GEN,1,1,1,0 <input type="checkbox"/>	HDCP 出力を取得。 OUT2B は入力信号に HDCP が付加されている場合のみ HDCP 出力、その他の出力は常時 HDCP を出力する。
	@SEN,1,1 <input type="checkbox"/> @SEN,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1A は常時 HDCP を出力する。 正常終了。
備考	—	

@GHR / @SHR	HDCP 認証エラー時のリトライ回数	
機能	取得	設定
書式	@GHR <input type="checkbox"/>	@SHR, ch_1, retry_1 (, ch_2, retry_2···) <input type="checkbox"/>
返り値	@GHR, retry_1A, retry_1B (, retry_2A, retry_2B) <input type="checkbox"/>	@SHR, ch_1, retry_1 (, ch_2, retry_2···) <input type="checkbox"/>
パラメータ	retry_1A / retry_2A : OUTA のリトライ回数 retry_1B / retry_2B : OUTB のリトライ回数 retry_1-4 : リトライ回数 -1 = 成功するまでリトライする ※初期値, 0 = リトライしない, 1 ~ 100 = 任意の回数リトライをする	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GHR <input type="checkbox"/> @GHR,-1,-1,-1,10 <input type="checkbox"/>	HDCP 認証エラー時のリトライ回数を取得。 OUT2B は 10 回、その他の出力は成功するまでリトライする。
	@SHR,4,10 <input type="checkbox"/> @SHR,4,10 <input type="checkbox"/>	OUT2B は 10 回までリトライする。 正常終了。
備考	—	

@GDC / @SDC	Deep Color 出力	
機能	取得	設定
書式	@GDC [↵]	@SDC, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
返り値	@GDC, color_1A, color_1B (, color_2A, color_2B) [↵]	@SDC, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
パラメータ	color_1A / color_2A : OUTA の色深度 color_1B / color_2B : OUTB の色深度 color_1-4 : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GDC [↵] @GDC,1,1,0,1 [↵]	色深度を取得。 OUT2A は 24-BIT COLOR、その他の出力は 30-BIT COLOR。
	@SDC,1,0 [↵] @SDC,1,0 [↵]	OUT1A は 24-BIT COLOR に設定。 正常終了。
備考	—	

@GCE / @SCE	CEC 接続	
機能	取得	設定
書式	@GCE [↵]	@SCE, ch_1, connect_1 (, ch_2, connect_2···) [↵]
返り値	@GCE, connect_1A, connect_1B (, connect_2A, connect_2B) [↵]	@SCE, ch_1, connect_1 (, ch_2, connect_2···) [↵]
パラメータ	connect_1A / connect_2A : OUTA の CEC の接続 connect_1B / connect_2B : OUTB の CEC の接続 connect_1-4 : CEC の接続 0 = 未接続 ※初期値, 1 = 選択されている映像入力チャンネル, 2 = 入力チャンネル 1, 3 = 入力チャンネル 2, 4 = 入力チャンネル 3, 5 = 入力チャンネル 4	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GCE [↵] @GCE,4,0,0,0 [↵]	CEC の接続を取得。 OUT1A は入力チャンネル 3 と接続する、その他の出力は未接続。
	@SCE,1,4 [↵] @SCE,1,4 [↵]	OUT1A の CEC は入力チャンネル 3 と接続する。 正常終了。
備考	—	

@HAU	HDCP 再認証	
機能	設定	
書式	@HAU, ch_1 (, ch_2...) [↓]	
返り値	@HAU, ch_1 (, ch_2...) [↓]	
パラメータ	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@HAU,1 [↓] @HAU,1 [↓]	OUT1A に接続されたシンク機器の HDCP の再認証を実行。 正常終了。
備考	-	

@GAU / @SAU	入力チャンネル自動切換優先度 OFF→ON	
機能	取得	設定
書式	@GAU, out [↓]	@SAU, out_1, in1_priority, in2_priority..., in5_priority (, out_2, in1_priority...) [↓]
返り値	@GAU, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority [↓]	@SAU, out_1, in1_priority, in2_priority..., in5_priority (, out_2, in1_priority...) [↓]
パラメータ	out : 出力チャンネル 1 = OUT1 ~ 2 = OUT2	
	in1_priority-in5_priority : 入力チャンネルの優先度 0 = OFF, 1 = 優先度(高) ~ 5 = 優先度(低)	
	out_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GAU,1 [↓] @GAU,1,1,2,3,4,5 [↓] @SAU,1,5,4,3,2,1 [↓] @SAU,1,5,4,3,2,1 [↓]	OUT1 の OFF から ON の自動切り換えの優先度を取得。 OUT1 の優先度は IN1>IN2>...>IN5。 OUT1 の優先度を IN5>IN4>...>IN1 に設定。 正常終了。
備考	-	

@GOF / @SOF	入力チャンネル自動切換優先度 ON→OFF	
機能	取得	設定
書式	@GOF, out <input type="checkbox"/>	@SOF, out_1, in1_priority, in2_priority···, in5_priority (, out_2, in1_priority···) <input type="checkbox"/>
返り値	@GOF, out, in1_priority, in2_priority, in3_priority, in4_priority, in5_priority <input type="checkbox"/>	@SOF, out_1, in1_priority, in2_priority···, in5_priority (, out_2, in1_priority···) <input type="checkbox"/>
パラメータ	out : 出力チャンネル 1 = OUT1 ~ 2 = OUT2	
	in1_priority-in5_priority : 入力チャンネルの優先度 0 = OFF, 1 = 優先度(高) ~ 5 = 優先度(低)	
	out_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GOF,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の ON から OFF の自動切り換えの優先度を取得。
	@GOF,1,1,2,3,4,5 <input type="checkbox"/>	OUT1 の優先度は IN1>IN2>···>IN5。
	@SOF,1,5,4,3,2,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の優先度を IN5>IN4>···>IN1 に設定。
	@SOF,1,5,4,3,2,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	-	

@GMT / @SMT	入力チャンネル自動切換後のマスク時間	
機能	取得	設定
書式	@GMT <input type="checkbox"/>	@SMT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GMT, time_1, time_2 <input type="checkbox"/>	@SMT, ch_1, time_1 (, ch_2, time_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	time_1-2 : マスク時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒 ※初期値 0 秒	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GMT <input type="checkbox"/>	入力チャンネル自動切り換え後のマスク時間を取得。
	@GMT,2000,10000 <input type="checkbox"/>	入力チャンネルの自動切り換え後、OUT1 は 2000 ms (2 秒)、OUT2 は 10000ms (10 秒) 経過するまでは自動切り換えをしない。
	@SMT,1,2000,2,10000 <input type="checkbox"/>	入力チャンネル自動切り換え後のマスク時間を OUT1 は 2000 ms (2 秒)、OUT2 は 10000ms (10 秒) に設定。
	@SMT,1,2000,2,10000 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	-	

@GAD / @SAD	入力チャンネル自動切換時のチャンネル切換モード	
機能	取得	設定
書式	@GAD [↵]	@SAD, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2) [↵]
返り値	@GAD, mode_1, mode_2 [↵]	@SAD, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2) [↵]
パラメータ	mode_1-2 : チャンネル切換モード 0 = VIDEO, 1 = AUDIO, 2 = V&A ※初期値	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GAD [↵]	入力チャンネル自動切換時のチャンネル 切換モードの取得。
	@GAD,2,1 [↵]	OUT1 は V&A、OUT2 は AUDIO。
	@SAD,1,2,2,0 [↵]	入力チャンネル自動切換時のチャンネル 切換モードを OUT1 は V&A、OUT2 は VIDEO のみに設定。
	@SAD,1,2,2,0 [↵]	正常終了。
備考	—	

3.3.9 音声設定

@GSL / @SSL	音声出力レベル	
機能	取得	設定
書式	@GSL [↵]	@SSL, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2) [↵]
返り値	@GSL, level_1 (, level_2) [↵]	@SSL, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2) [↵]
パラメータ	level_1-2 : 音声出力レベル -60 ~ +10 ※初期値 ±0	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GSL [↵] @GSL,-4,0 [↵] @SSL,1,-4 [↵] @SSL,1,-4 [↵]	音声出力レベルを取得。 OUT1 は-4 dB、OUT2 は±0 dB。 OUT1 の音声出力レベルを-4 dB に設定。 正常終了。
備考	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@SOL	音声出力レベル 相対値	
機能	設定	
書式	@SOL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2) [↵]	
返り値	@SOL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2) [↵]	
パラメータ	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	updown_1-2 : 相対設定 -70 ~ +70 現在の音声出力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声出力レベルがリミット値 (-60 ~ +10) を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	@SOL,1,-1 [↵] @SOL,1,-1 [↵]	OUT1 の音声出力レベルを 1 dB 下げる。 正常終了。
備考	ミュート中に出力レベルを変更するとミュートが解除されます。	

@GOL	音声出力レベル リミット状態	
機能	取得	
書式	@GOL [↵]	
返り値	@GOL, out_1 (, out_2) [↵]	
パラメータ	out_1-2 : 音声出力レベルのリミット状態 -1 = 最小設定値 (-60 dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値 (+10 dB)	
実行例	@GOL [↵] @GOL,1,0 [↵]	音声出力レベルのリミット状態を取得。 OUT1 は最大設定値、OUT2 はリミット状態ではない。
備考	—	

@GAM / @SAM		音声出力ミュート	
機能	取得	設定	
書式	@GAM [↵]	@SAM, ch_1, mute_1 (, ch_2, mute_2) [↵]	
返り値	@GAM, mute_1 (, mute_2) [↵]	@SAM, ch_1, mute_1 (, ch_2, mute_2) [↵]	
パラメータ	mute_1-2 : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF ※初期値, 1 = ミュート ON		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@GAM [↵] @GAM,1,0 [↵]	音声出力ミュートを取得。 OUT1 はミュート ON、OUT2 はミュート OFF。	
	@SAM,1,1 [↵] @SAM,1,1 [↵]	OUT1 の音声出力をミュートする。 正常終了。	
備考	—		

@GAS / @SAS		音声入力選択	
機能	取得	設定	
書式	@GAS [↵]	@SAS, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2····) [↵]	
返り値	@GAS, select_1, select_2, select_3 [↵]	@SAS, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2····) [↵]	
パラメータ	select_1-3 : 音声入力選択 0 = 自動 ※初期値, 1 = アナログ音声, 2 = デジタル音声		
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3		
実行例	@GAS [↵] @GAS,1,0,0 [↵]	音声入力選択を取得。 IN1 はアナログ音声を使用し、その他の入力は自動に設定。	
	@SAS,3,1 [↵] @SAS,3,1 [↵]	IN3 の音声入力をアナログ音声に設定。 正常終了。	
備考	デジタル入力専用のコマンドです。		

@GSD	実際の音声入力選択	
機能	取得	
書式	@GSD [↵]	
返り値	@GSD, in_1, in_2, in_3 [↵]	
パラメータ	in_1-3 : 実際の音声入力選択 1 = アナログ音声 ※初期値, 2 = デジタル音声	
実行例	@GSD [↵] @GSD,1,2,2 [↵]	実際の音声入力選択を取得。 IN1 はアナログ音声、その他の入力はデジタル音声の有効。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。	

@GSO / @SSO	音声入力レベル	
機能	取得	設定
書式	@GSO [↵]	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2···) [↵]
返り値	@GSO, level_1, level_2, level_3, level_4, level_5 [↵]	@SSO, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2···) [↵]
パラメータ	level_1-5 : 音声入力レベル -60 ~ ±0 ※初期値 ±0	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GSO [↵] @GSO,0,0,0,0,-4 [↵] @SSO,5,-8 [↵] @SSO,5,-8 [↵]	音声入力レベルを取得。 IN5 は-4 dB、その他の入力は±0 dB。 IN5 の音声入力レベルを-8 dB に設定。 正常終了。
備考	-	

@SIL	音声入力レベル 相対値	
機能	設定	
書式	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2···) [↵]	
返り値	@SIL, ch_1, updown_1 (, ch_2, updown_2···) [↵]	
パラメータ	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
	updown_1-5 : 相対設定 -60 ~ +60 現在の音声入力レベル設定に、指定した値を加算します。加算した結果、音声入力レベルがリミット値 (-60 ~ ±0) を超える場合は、リミット値に制限されます。	
実行例	@SIL,1,-1 [↵] @SIL,1,-1 [↵]	IN1 の音声入力レベルを 1 dB 下げる。 正常終了。
備考	-	

@GIL	音声入力レベル リミット状態	
機能	取得	
書式	@GIL [↵]	
返り値	@GIL, in_1, in_2, in_3, in_4, in_5 [↵]	
パラメータ	in_1-5 : リミット状態 -1 = 最小設定値 (-60 dB), 0 = リミット状態ではない, 1 = 最大設定値 (±0 dB)	
実行例	@GIL [↵] @GIL,1,0,0,0,0 [↵]	音声入力レベルのリミット状態を取得。 IN1 は最大設定値、その他の入力はリミット状態ではない。
備考	—	

@GLO / @SLO	出力リップシンク	
機能	取得	設定
書式	@GLO [↵]	@SLO, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2) [↵]
返り値	@GLO, frame_1 (, frame_2) [↵]	@SLO, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2) [↵]
パラメータ	frame_1-2 : 出力リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GLO [↵] @GLO,0,2 [↵]	出力側のリップシンクを取得。 OUT1 は 0 フレーム、OUT2 は 2 フレーム。
	@SLO,1,2 [↵] @SLO,1,2 [↵]	OUT1 のリップシンクを 2 フレームに設定。 正常終了。
備考	—	

@GLY / @SLY	入力リップシンク	
機能	取得	設定
書式	@GLY [↵]	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [↵]
返り値	@GLY, frame_1, frame_2, frame_3, frame_4, frame_5 [↵]	@SLY, ch_1, frame_1 (, ch_2, frame_2...) [↵]
パラメータ	frame_1-5 : 入力リップシンク 0 ~ 8 ※初期値 0	
	ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GLY [↵] @GLY,0,0,0,2,0 [↵]	入力側のリップシンクを取得。 IN4 は 2 フレーム、その他の入力は 0 フレーム。
	@SLY,4,2 [↵] @SLY,4,2 [↵]	IN4 のリップシンクを 2 フレームに設定。 正常終了。
備考	—	

@GSF / @SSF	サンプリング周波数	
機能	取得	設定
書式	@GSF [↵]	@SSF, ch_1, frequency_1 (, ch_2, frequency_2) [↵]
返り値	@GSF, frequency_1 (, frequency_2) [↵]	@SSF, ch_1, frequency_1 (, ch_2, frequency_2) [↵]
パラメータ	frequency_1-2 : サンプリング周波数 0 = AUTO-A ※初期値, 1 = AUTO-B, 2 = 32 kHz, 3 = 44.1 kHz, 4 = 48 kHz, 5 = 88.2 kHz, 6 = 96 kHz, 7 = 192 kHz	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GSF [↵] @GSF,0,2 [↵]	サンプリング周波数を取得。 OUT1 は AUTO-A、OUT2 は 32 kHz に設定されている。
	@SSF,1,3 [↵]	OUT1 のサンプリング周波数を 44.1 kHz に設定。
	@SSF,1,3 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GFD	実際のサンプリング周波数	
機能	取得	
書式	@GFD [↵]	
返り値	@GFD, frequency_1 (, frequency_2) [↵]	
パラメータ	frequency_1-2 : サンプリング周波数 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz ※初期値, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 192 kHz	
実行例	@GFD [↵] @GFD,5,3 [↵]	実際のサンプリング周波数を取得。 OUT1 は 96 kHz、OUT2 は 48 kHz で出力している。
備考	@GSF / @SSF サンプリング周波数 (P.59) の設定が “AUTO-A” または “AUTO-B” に設定されている場合は、実際に出力しているサンプリング周波数を返信します。 “AUTO-A” または “AUTO-B” 以外に設定されている場合は、設定したサンプリング周波数を返信します。	

@GDO / @SDO		音声出力コネクタ
機能	取得	設定
書式	@GDO [↵]	@SDO, ch_1, out_1, (, ch_2, out_2) [↵]
返り値	@GDO, out_1 (, out_2) [↵]	@SDO, ch_1, out_1, (, ch_2, out_2) [↵]
パラメータ	out_1-2 : 音声出力コネクタ 0 = アナログ音声出力コネクタのみ出力, 1 = HDMI 出力コネクタと HDBaseT 出力コネクタに出力, 2 = アナログ音声出力コネクタ、HDMI 出力コネクタおよび HDBaseT 出力コネクタに出力 ※初期値	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GDO [↵] @GDO,0,1 [↵]	音声を出力するコネクタを取得。 OUT1 はアナログ音声出力コネクタのみ 音声を出し、OUT2 は HDMI 出力コネクタと HDBaseT 出力コネクタに音声を出力する。
	@SDO,1,0 [↵]	OUT1 はアナログ音声出力コネクタのみ 音声を出力設定。
	@SDO,1,0 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GAO / @SAO		デジタル音声出力コネクタ
機能	取得	設定
書式	@GAO [↵]	@SAO, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) [↵]
返り値	@GAO, out_1A, out_1B (, out_2A , out_2B) [↵]	@SAO, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2...) [↵]
パラメータ	out_1A / out_2A : OUTA のデジタル音声出力 out_1B / out_2B : OUTB のデジタル音声出力 out_1-4 : デジタル音声出力 0 = 出力しない, 1 = 出力する ※初期値	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 0 = 全出力, 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
実行例	@GAO [↵] @GAO,1,1,1,0 [↵]	デジタル音声を出力するコネクタを取得。 OUT2B はデジタル音声を出力しない、その他の出力はデジタル音声を出力する。
	@SAO,1,0 [↵] @SAO,1,0 [↵]	OUT1A はデジタル音声を出力しない。 正常終了。
備考	—	

@GMD / @SMD		マルチチャンネル音声出力	
機能	取得	設定	
書式	@GMD [↵]	@SMD, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]	
返り値	@GMD, out_1 (, out_2) [↵]	@SMD, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]	
パラメータ	out_1-2 : マルチチャンネル音声出力 0 = CH1 / CH2 STEREO, 1 = CH3 / CH4 STEREO, 2 = CH5 / CH6 STEREO, 3 = CH7 / CH8 STEREO, 4 = CH1 / CH2 MONO, 5 = CH3 / CH4 MONO, 6 = CH5 / CH6 MONO, 7 = CH7 / CH8 MONO, 8 = DOWN MIX ※初期値		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@GMD [↵] @GMD,4,8 [↵]	マルチチャンネル音声出力を取得。 OUT1 は CH1 / CH2 をモノラル化した音 声を出し、OUT2 は DOWN MIX した音 声を出しする。	
	@SMD,1,8 [↵] @SMD,1,8 [↵]	OUT1 は DOWN MIX した音声を出し設 定。 正常終了。	
備考	—		

@GCH / @SCH		マルチチャンネル音声出力優先度	
機能	取得	設定	
書式	@GCH [↵]	@SCH, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]	
返り値	@GCH, out_1 (, out_2) [↵]	@SCH, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]	
パラメータ	out_1-2 : マルチチャンネル音声出力優先度 0 = DOWN MIX, 1 = MULTI ※初期値		
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2		
実行例	@GCH [↵] @GCH,0,1 [↵]	マルチチャンネル音声出力優先度を取 得。 OUT1 は DOWN MIX 優先、OUT2 はマル チチャンネル音声優先。	
	@SCH,1,1 [↵] @SCH,1,1 [↵]	OUT1 はマルチチャンネル音声優先設 定。 正常終了。	
備考	—		

@GAT / @SAT	テストトーン	
機能	取得	設定
書式	@GAT [↵]	@SAT, ch_1, tone_1, speaker_1 (, ch_2, tone_2, speaker_2) [↵]
返り値	@GAT, tone_1, speaker_1 (, tone_2, speaker_2) [↵]	@SAT, ch_1, tone_1, speaker_1 (, ch_2, tone_2, speaker_2) [↵]
パラメータ	tone_1-2 : テストトーン 0 = OFF ※初期値, 1 = 1kHz, 2 = 400Hz	
	speaker_1-2 : スピーカー 0 = ALL ※初期値, 1 = FRONT L/R, 2 = REAR L/R, 3 = REAR L/R CENTER, 4 = FRONT LEFT, 5 = FRONT RIGHT, 6 = LOW FREQUENCY EFFECT, 7 = FRONT CENTER, 8 = REAR LEFT, 9 = REAR RIGHT, 10 = REAR LEFT CENTER, 11 = REAR RIGHT CENTER	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GAT [↵] @GAT,2,1,0,0 [↵]	テストトーンの出力設定を取得。 OUT1 は FRONT L/R に 400Hz のテストトーンを出力し、OUT2 はテストトーンを出力しない。
	@SAT,1,1,0 [↵]	OUT1 のすべてのスピーカーに 1kHz のテストトーンを出力設定。
	@SAT,1,1,0 [↵]	正常終了。
備考	—	

3.3.10 EDID 設定

@GED / @SED	EDID データ	
機能	取得	設定
書式	@GED ↵	@SED, ch_1, edid_1 (, ch_2, edid_2····) ↵
返り値	@GED, edid_1, edid_2, edid_3 ↵	@SED, ch_1, edid_1 (, ch_2, edid_2····) ↵
パラメータ	edid_1-5 : EDID データ 0 = 内蔵 EDID ※初期値, 1 = OUT1A MONITOR, 2 = OUT1B MONITOR, 3 = OUT2A MONITOR, 4 = OUT2B MONITOR, 101 ~ 108 = COPY DATA 1 ~ COPY DATA 8	
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3	
実行例	@GED ↵ @GED,0,0,3 ↵	EDID データを取得。 IN3 は OUT2A に接続されたシンク機器の EDID、その他の入力は内蔵 EDID。
	@SED,2,3 ↵ @SED,2,3 ↵	IN2 を OUT2A に接続されたシンク機器から 読み取った EDID に設定。 正常終了。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。 コピーデータを使用する場合、@RME EDID データのコピー (P.68) であらかじめシンク機器から EDID データを読み取っておく必要があります。	

@GVF / @SVF	パソコン用入力解像度	
機能	取得	設定
書式	@GVF [F]	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2...) [F]
返り値	@GVF, resolution_1, resolution_2, resolution_3, resolution_4, resolution_5 [F]	@SVF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2...) [F]
パラメータ	resolution_1-5 : パソコン用入力解像度 0 = SVGA(800x600), 1 = XGA(1024x768), 2 = 720p(1280x720), 3 = WXGA(1280x768), 4 = WXGA(1280x800), 5 = QuadVGA(1280x960), 6 = SXGA(1280x1024), 7 = WXGA(1360x768), 8 = WXGA(1366x768), 9 = SXGA+(1400x1050), 10 = WXGA+(1440x900), 11 = WXGA++(1600x900), 12 = UXGA(1600x1200), 13 = WSXGA+(1680x1050), 14 = 1080i(1920x1080), 15 = 1080p(1920x1080), 16 = WUXGA(1920x1200), 17 = QWXGA(2048x1152)	
	※初期値 1080p(1920x1080) ch_1-5 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GVF [F]	パソコン用入力解像度を取得。
	@GVF,6,6,9,6,6 [F]	IN3 は SXGA+、その他の入力 は SXGA。
	@SVF,0,12 [F]	全入力チャンネルの EDID を UXGA に設定。
	@SVF,0,12 [F]	正常終了。
備考	—	

@GHF / @SHF	AV 機器用入力解像度	
機能	取得	設定
書式	@GHF [↵]	@SHF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) [↵]
返り値	@GHF, resolution_1, resolution_2, resolution_3 [↵]	@SHF, ch_1, resolution_1 (, ch_2, resolution_2···) [↵]
パラメータ	resolution_1-3 : AV 機器用入力解像度 0 = UNUSED, 1 = 480p, 2 = 720p, 3 = 1080i, 4 = 1080p, 5 = AUTO ※初期値	
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3	
実行例	@GHF [↵]	AV 機器用入力解像度を取得。
	@GHF,5,4,5 [↵]	IN2 は 1080p、その他の入力 は AUTO。
	@SHF,0,4 [↵]	全入力チャンネルの EDID を 1080p に設定。
	@SHF,0,4 [↵]	正常終了。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。	

@GDI / @SDI	Deep Color 入力	
機能	取得	設定
書式	@GDI [↵]	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
返り値	@GDI, color_1, color_2, color_3 [↵]	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2···) [↵]
パラメータ	color_1-3 : 色深度 0 = 24-BIT COLOR ※初期値, 1 = 30-BIT COLOR	
	ch_1-3 : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3	
実行例	@GDI [↵]	色深度を取得。
	@GDI,1,1,0 [↵]	IN3 は 24-BIT COLOR、その他の入力 は 30-BIT COLOR。
	@SDI,3,0 [↵]	IN3 の色深度を 24-BIT COLOR に設定。
	@SDI,3,0 [↵]	正常終了。
備考	デジタル入力専用のコマンドです。	

@GAF / @SAF	音声フォーマット																	
機能	取得	設定																
書式	@GAF, ch []	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) []																
返り値	@GAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) []	@SAF, ch, format_1, frequency_1 (, format_2, frequency_2···) []																
パラメータ	<p>ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 “全デジタル入力”は、設定コマンドのみ指定することができます。</p> <p>format_1-7 : 音声フォーマット 0 = PCM, 1 = Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD ※初期値 PCM のみ出力許可</p> <p>frequency_1-7 : 最大サンプリング周波数 0 = 出力を許可しない, 1 = 32 kHz, 2 = 44.1 kHz, 3 = 48 kHz, 4 = 88.2 kHz, 5 = 96 kHz, 6 = 176.4 kHz, 7 = 192 kHz ※初期値 DTS-HD は 192 kHz、Dolby TrueHD は 96 kHz、それ以外は 48 kHz “出力を許可しない”は、設定コマンドのみ指定することができます。 指定可能な最大サンプリング周波数は、音声フォーマットにより異なります</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>最大サンプリング周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCM</td> <td>32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192</td> </tr> </tbody> </table> <p>取得コマンドの場合、出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプリング周波数を返信します。 設定コマンドの場合、出力を許可する音声フォーマットと、最大サンプリング周波数を指定します。 出力を許可する音声フォーマットのみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった音声フォーマットについては自動的にすべて“出力を許可しない”に設定されるため、通常は“出力を許可しない”のパラメータを指定する必要はありません。また、PCM は必ず許可されるので、最大サンプリング周波数を変更する必要がなければ省略可能です。</p>		音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)	PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96	Dolby Digital+	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48	DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96	DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192	Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192
音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)																	
PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby Digital	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
AAC	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96																	
Dolby Digital+	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48																	
DTS	出力を許可しない / 32 / 44.1 / 48 / 96																	
DTS-HD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
Dolby TrueHD	出力を許可しない / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192																	
実行例	<p>@GAF,1 []</p> <p>@GAF,1,0,7 []</p> <p>@SAF,2,4,3 []</p> <p>@SAF,2,4,3 []</p>	<p>IN1 の出力許可されている音声フォーマットを取得。 PCM の 192 kHz までの音声出力が許可されている。</p> <p>IN2 は PCM および DTS の 48 kHz までの音声出力許可。 (PCM の最大サンプリング周波数は変更されません) 正常終了。</p>																
備考	デジタル入力専用のコマンドです。																	

@GSP / @SSP	スピーカー数																																																																																																																																									
機能	取得	設定																																																																																																																																								
書式	@GSP, ch <input type="checkbox"/>	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																																								
返り値	@GSP, ch, number, speaker_1 (, speaker_2...) <input type="checkbox"/>	@SSP, ch, number (, speaker_1, speaker_2...) <input type="checkbox"/>																																																																																																																																								
パラメータ	ch : 入力チャンネル 0 = 全デジタル入力, 1 = IN1 ~ 3 = IN3 “全デジタル入力”は、設定コマンドのみ指定することができます。																																																																																																																																									
	number : スピーカー数 1 ~ 8 ※初期値 2																																																																																																																																									
	speaker_1-8 : 使用するスピーカー 0 = Front Left / Right ※初期値, 1 = Low Frequency Effect, 2 = Front Center, 3 = Rear Left / Right, 4 = Rear Center, 5 = Front Left / Right Center, 6 = Rear Left / Right Center, 7 = Front Left / Right Wide, 8 = Front Left / Right High, 9 = Top Center, 10 = Front Center High																																																																																																																																									
	取得コマンドの場合、スピーカー数と使用するスピーカーを返信します。 設定コマンドの場合、使用するスピーカーを省略すると、スピーカー数の設定に応じて以下のように設定されます。																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">number</th> <th colspan="11">speaker</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> </tbody> </table>											number	speaker											0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	OFF	OFF	ON	OFF	2	ON	OFF	3	ON	ON	OFF	4	ON	ON	ON	OFF	5	ON	ON	OFF	ON	OFF	6	ON	ON	ON	ON	OFF	7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																							
number	speaker																																																																																																																																									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																																																															
1	OFF	OFF	ON	OFF																																																																																																																																						
2	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																														
3	ON	ON	OFF																																																																																																																																							
4	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																																						
5	ON	ON	OFF	ON	OFF																																																																																																																																					
6	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																																					
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF																																																																																																																																				
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF																																																																																																																														
	使用するスピーカーを指定したときに、スピーカー数と使用するスピーカーの合計が一致しない場合は、使用するスピーカーから自動的にスピーカー数を設定します。万一、スピーカー数が設定可能な範囲を超えている場合はエラーになります。																																																																																																																																									
実行例	@GSP,1 <input type="checkbox"/> @GSP,1,6,0,1,2,3 <input type="checkbox"/>	IN1 のスピーカー構成を取得。 Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right の 6 個のスピーカーを使用している。																																																																																																																																								
	@SSP,2,8 <input type="checkbox"/> @SSP,2,8 <input type="checkbox"/>	IN2 は Front Left / Right, Low Frequency Effect, Front Center, Rear Left / Right, Rear Left / Right Center の 8 個のスピーカーを使用。 正常終了。																																																																																																																																								

@GSP / @SSP	スピーカー数 (つづき)	
実行例	@SSP,3,8,0,3,5,6,7 <input type="checkbox"/>	IN3 は Front Left / Right, Rear Left / Right, Front Left / Right Center, Rear Left / Right Center, Front Left / Right Wide のスピーカーを使用。 スピーカー数の合計が 10 個になり、設定可能な数を超過している。
	@ERR,1 <input type="checkbox"/>	
備考	デジタル入力専用のコマンドです。	

@RME	EDID データのコピー	
機能	保存	
書式	@RME, out, number (, name) <input type="checkbox"/>	
返り値	@RME, out, number (, name) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	out : 読み取りコネクタ 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B	
	number : 保存先の COPY DATA 番号 1 ~ 8	
	name : COPY DATA 名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで COPY DATA 名は省略可能です。 省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに EDID の設定のみ保存します。	
実行例	@RME,1,1 <input type="checkbox"/>	OUT1A に接続されているシンク機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存。 正常終了。
	@RME,1,1 <input type="checkbox"/>	
	@RME,3,4,800x600 <input type="checkbox"/>	OUT2A に接続されているシンク機器の EDID データを読み取り、COPY DATA 4 に「800x600」という名前を付けて保存。 正常終了。
	@RME,3,4,800x600 <input type="checkbox"/>	
備考	@GED / @SED EDID データ (P.63)	

3.3.11 RS-232C 通信設定

@GCT / @SCT	RS-232C 通信	
機能	取得	設定
書式	@GCT [↵]	@SCT, port, setting [↵]
返り値	@GCT, rs_232c, out_1B (, out_2B) [↵]	@SCT, port, setting [↵]
パラメータ	rs_232c : RS-232C コネクタの通信設定 out_1B : OUT1B コネクタの通信設定 out_2B : OUT2B コネクタの通信設定 setting : 通信設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信速度 (4800, 9600, 19200, 38400 [bps] ※初期値 9600) ・ データビット長 (8, 7 [bit] ※初期値 8) ・ パリティチェック (なし, 偶数, 奇数 ※初期値 なし) ・ ストップビット (1, 2 [bit] ※初期値 1) 設定値は [表 3.1] をご覧ください。	
	port : コネクタ 0 = 全コネクタ, 1 = RS-232C コネクタ, 2 = OUT1B コネクタ, 3 = OUT2B コネクタ	
実行例	@GCT [↵] @GCT,24,24,24 [↵]	RS-232C の通信設定を取得。 すべて通信速度=19200 [bps], データビット長=8 [bit], パリティチェック=なし, ストップビット=1 [bit]。
	@SCT,1,24 [↵]	RS-232C コネクタを、通信速度=19200 [bps]、データビット長=8 [bit]、パリティチェック=なし、ストップビット=1 [bit] に設定。
	@SCT,1,24 [↵]	正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

[表 3.1] RS-232C 通信設定パラメータ

値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定				値	通信設定			
0	4800	8	なし	1	12	9600	8	なし	1	24	19200	8	なし	1	36	38400	8	なし	1
1	4800	8	なし	2	13	9600	8	なし	2	25	19200	8	なし	2	37	38400	8	なし	2
2	4800	8	奇数	1	14	9600	8	奇数	1	26	19200	8	奇数	1	38	38400	8	奇数	1
3	4800	8	奇数	2	15	9600	8	奇数	2	27	19200	8	奇数	2	39	38400	8	奇数	2
4	4800	8	偶数	1	16	9600	8	偶数	1	28	19200	8	偶数	1	40	38400	8	偶数	1
5	4800	8	偶数	2	17	9600	8	偶数	2	29	19200	8	偶数	2	41	38400	8	偶数	2
6	4800	7	なし	1	18	9600	7	なし	1	30	19200	7	なし	1	42	38400	7	なし	1
7	4800	7	なし	2	19	9600	7	なし	2	31	19200	7	なし	2	43	38400	7	なし	2
8	4800	7	奇数	1	20	9600	7	奇数	1	32	19200	7	奇数	1	44	38400	7	奇数	1
9	4800	7	奇数	2	21	9600	7	奇数	2	33	19200	7	奇数	2	45	38400	7	奇数	2
10	4800	7	偶数	1	22	9600	7	偶数	1	34	19200	7	偶数	1	46	38400	7	偶数	1
11	4800	7	偶数	2	23	9600	7	偶数	2	35	19200	7	偶数	2	47	38400	7	偶数	2

@GCF / @SCF		RS-232C 通信の動作モード
機能	取得	設定
書式	@GCF ⏎	@SCF, mode ⏎
返り値	@GCF, mode ⏎	@SCF, mode ⏎
パラメータ	mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
実行例	@GCF ⏎ @GCF,1 ⏎	RS-232C コネクタの動作モードを取得。 RS-232C コネクタは送信モード。
	@SCF,1 ⏎ @SCF,1 ⏎	RS-232C コネクタを送信モードに設定。 正常終了。
備考	RS-232C コネクタ専用のコマンドです。 IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GCD / @SCD		制御機器間 RS-232C 伝送
機能	取得	設定
書式	@GCD ⏎	@SCD, mode ⏎
返り値	@GCD, mode ⏎	@SCD, mode ⏎
パラメータ	mode : RS-232C 伝送 0 = OFF ※初期値, RS-232C コネクタは、@GCF / @SCF RS-232C 通信の動作モード (P.70) で設定したモードで動作します。 1 = OUT1B コネクタ, 2 = OUT2B コネクタ RS-232C コネクタと、OUT1B コネクタまたは OUT2B コネクタに接続された HDC シリーズ受信器の RS-232C コネクタとの間で通信をすることができます。RS-232C コネクタは、パソコンから本機への通信コマンド制御、および本機から外部機器への制御コマンド出力に使用することはできません。	
実行例	@GCD ⏎ @GCD,0 ⏎	RS-232C 伝送を取得。 RS-232C コネクタは、@GCF / @SCF RS-232C 通信の動作モードで設定したモードで動作している。
	@SCD,1 ⏎ @SCD,1 ⏎	RS-232C コネクタと、OUT1B コネクタに接続された HDC シリーズ受信器の RS-232C コネクタとの間で通信をする。 正常終了。
備考	RS-232C 伝送をするとき、パソコンなどの外部機器の通信設定は、送信側 / 受信側が同じになるように設定してください。	

3.3.12 LAN 通信設定

@GIP / @SIP	IP アドレス	
機能	取得	設定
書式	@GIP [↵]	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
返り値	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.199	
実行例	@GIP [↵] @GIP,192,168,3,2 [↵]	本機の IP アドレスを取得。 IP アドレスは 192.168.3.2。
	@SIP,192,168,3,2 [↵] @SIP,192,168,3,2 [↵]	IP アドレスを 192.168.3.2 に設定。 正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GSB / @SSB	サブネットマスク	
機能	取得	設定
書式	@GSB [↵]	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
返り値	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 255.255.255.0	
実行例	@GSB [↵] @GSB,255,255,192,0 [↵]	本機のサブネットマスクを取得。 サブネットマスクは 255.255.192.0 (= 18 ビット)。
	@SSB,255,255,192,0 [↵] @SSB,255,255,192,0 [↵]	本機のサブネットマスクを 255.255.192.0 (= 18 ビット) に設定。 正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GGW / @SGW	ゲートウェイアドレス	
機能	取得	設定
書式	@GGW [↵]	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
返り値	@GGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	@SGW, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]
パラメータ	unit_1 : ゲートウェイアドレス上位 ~ unit_4 : ゲートウェイアドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.200	
実行例	@GGW [↵] @GGW,192,168,1,254 [↵]	ゲートウェイアドレスを取得。 ゲートウェイアドレスは 192.168.1.254。
	@SGW,192,168,1,254 [↵] @SGW,192,168,1,254 [↵]	ゲートウェイアドレスを 192.168.1.254 に設定。 正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GLF / @SLF	LAN 通信の動作モード	
機能	取得	設定
書式	@GLF, connection [↵]	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [↵]
返り値	@GLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [↵]	@SLF, connection, mode (, ip_1, ip_2, ip_3, ip_4, pjlink, tcp, password) [↵]
パラメータ	connection : コネクション番号 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8	
	mode : 動作モード 0 = 受信モード ※初期値, 1 = 送信モード	
	ip_1 : 接続先 IP アドレス上位 ~ ip_4 : 接続先 IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8 ビット (10 進数表記) ※初期値 192.168.1.198 mode が “送信モード” の場合のみ、返信 / 設定します。	
	pjlink : PJLink プロトコル接続 0 = PJLink を使用しない ※初期値, 1 = PJLink を使用する mode が “送信モード” の場合のみ、返信 / 設定します。	
	tcp : 接続先ポート番号 1 ~ 65535 ※初期値 1100 mode が “送信モード” で、かつ pjlink が “PJLink を使用しない” の場合のみ、返信 / 設定します。なお、PJLink プロトコル接続のときは、“4352” 固定です。	
	password : PJLink プロトコルのパスワード ASCII コードの、20, 30 ~ 39, 41 ~ 5A, 61 ~ 7A (英数字) の中から最大 32 文字まで。 ※初期値 すべて 20 (スペース) mode が “送信モード” で、かつ pjlink が “PJLink を使用する” の場合のみ、返信 / 設定します。 取得コマンドの場合、パスワードが設定されている場合のみ返信します。 設定コマンドの場合、PJLink プロトコルで接続する際にパスワードによる認証を行わない場合は、省略可能です。	
実行例	@GLF,3 [↵] @GLF,3,1,192,168,1,2,1,PROJECTOR1 [↵]	コネクション 3 の動作モードを取得。 動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=「PROJECTOR1」。
	@SLF,3,1,192,168,1,2,1 [↵]	コネクション 3 の動作モード=送信モード, 接続先 IP アドレス=192.168.1.2, PJLink=使用する, パスワード=認証を行なわないに設定。
	@SLF,3,1,192,168,1,2,1 [↵]	正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GLP / @SLP	TCP ポート番号	
機能	取得	設定
書式	@GLP [↵]	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2···) [↵]
返り値	@GLP, port_1, port_2, port_3, port_4, port_5, port_6, port_7, port_8 [↵]	@SLP, connection_1, port_1 (, connection_2, port_2···) [↵]
パラメータ	port_1-8 : TCP ポート番号 23, 80, 1100, 5000 ~ 5999, 6000 ~ 6999 ※初期値 コネクション 1 ~ 3 = 1100, コネクション 4 ~ 6 = 23, コネクション 7 ~ 8 = 80	
	connection_1-8 : コネクション番号 0 = 全コネクション, 1 = コネクション 1 ~ 8 = コネクション 8	
実行例	@GLP [↵] @GLP,1100,1100,1100,23,23,23,80,80 [↵]	ポート番号を取得。 コネクション 1~3 は 1100, コネクション 4~6 は 23, コネクション 7 および 8 は 80。
	@SLP,8,6000 [↵]	コネクション 8 のポート番号を 6000 に設定。
	@SLP,8,6000 [↵]	正常終了。
備考	IP アドレスや RS-232C 通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更をしてください。	

@GMC	MAC アドレス	
機能	取得	
書式	@GMC [↵]	
返り値	@GMC, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 [↵]	
パラメータ	unit_1 : MAC アドレス上位 ~ unit_6 : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット (16 進数表記)	
実行例	@GMC [↵] @GMC,00,08,E5,5F,00,00 [↵]	MAC アドレスを取得。 MAC アドレスを返信。
備考	—	

3.3.13 制御コマンド送信設定

@EXC	制御コマンドの実行	
機能	設定	
書式	@EXC, command_1 (, command_2···) <input type="checkbox"/>	
返り値	@EXC, command_1 (, command_2···) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	command_1-5 : 制御コマンド 1 = COMMAND 1 ~ 32 = COMMAND 32	
実行例	@EXC,1,2,3 <input type="checkbox"/> @EXC,1,2,3 <input type="checkbox"/>	COMMAND 1→2→3 の順番に実行。 正常終了。
	@EXC,6 <input type="checkbox"/> @EXC,6,RCV:POWER OFF <input type="checkbox"/>	COMMAND 6 を実行。 受信データを表示するコマンドを実行した場合は、受信した結果が返信される。この例ではコマンドを送信した機器から「POWER OFF」と受信する。
備考	制御コマンドの実行が終了してから結果を返信するため、返信に時間がかかる場合があります。	

@GEC / @SEC	制御コマンド (通信コマンド制御)																																				
機能	取得	設定																																			
書式	@GEC, no <input type="checkbox"/>	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, rcv_1, rcv_2···) <input type="checkbox"/>																																			
返り値	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, rcv_1, rcv_2···) <input type="checkbox"/>	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display (, rcv_1, rcv_2···) <input type="checkbox"/>																																			
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32																																				
	delay : 遅延時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒																																				
	port : 出力ポート 1 ~ 4095																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>bit</th> <th>7</th> <th>6</th> <th>5</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>port</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232C OUT2B</td> <td>RS-232C OUT1B</td> <td>RS-232C</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>bit</th> <th>15</th> <th>14</th> <th>13</th> <th>12</th> <th>11</th> <th>10</th> <th>9</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>port</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> </tr> </tbody> </table>		bit	7	6	5	4	3	2	1	0	port	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C	bit	15	14	13	12	11	10	9	8	port	—	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7
bit	7	6	5	4	3	2	1	0																													
port	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C																													
bit	15	14	13	12	11	10	9	8																													
port	—	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6																													
<p>コマンドを送信する出力ポートに該当するビットが 1 になります (bit12 - bit15 は未使用なので常に 0 になります)。例えば、RS-232C にコマンドを送信する場合は 1 (2 進数で 0000000000000001) になり、LAN1 にコマンドを送信する場合は 8 (2 進数で 0000000000001000) になります。</p>																																					

@GEC / @SEC	制御コマンド (通信コマンド制御) つづき	
パラメータ	<p>memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length × 2 桁</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 = 0 秒 ~ 99999 = 99.999 秒</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 = 0 秒 ~ 99999 = 99.999 秒</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 0 = 通信コマンド制御の場合は、0 になります</p> <p>recv_1-32 : 返信コマンドのチェックの有無 1 ~ 32</p> <p>取得コマンドの場合、チェックする返信コマンド番号をカンマで区切って返信します。設定コマンドの場合、チェックする返信コマンド番号を指定し、複数チェックする場合はカンマで区切って最大 32 個まで指定可能です。チェックする返信コマンド番号のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった返信コマンドについては自動的にすべて「チェックしない」に設定されます。返信コマンドは、@GRC / @SRC 返信コマンド (P.80) で登録します。</p>	
実行例	<p>@GEC,1 ☑</p> <p>@GEC,1,10,1,POWER,7,5057204F4E0D0A,1000,2,500,0,0,1,2 ☑</p>	<p>制御コマンド番号 1 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遅延時間 : 10 ms ・ 出力ポート : RS-232C ・ メモ : POWER ・ データサイズ : 7 バイト ・ コマンドデータ : PW ON CR LF (ASCII 文字) ・ タイムアウト : 1000 ms ・ リトライ回数 : 2 回 ・ リトライ間隔 : 500 ms 間隔で再送信する ・ リトライオーバー : 停止する ・ 受信データ : 表示しない ・ 返信コマンド : 1 と 2 をチェックする

@GEC / @SEC	制御コマンド (通信コマンド制御) つづき	
実行例	@SEC,2,0,2048,IN1 SELECT,10, 405353572C312C310D0A,0,0,0,1,0 ☐ @SEC,2,0,2048,IN1 SELECT,10, 405353572C312C310D0A,0,0,0,1,0 ☐	制御コマンド番号 2 に以下の内容で登録。 ・ 遅延時間 : 0 ms ・ 出力ポート : LOOP BACK ・ メモ : IN1 SELECT ・ データサイズ : 10 バイト ・ コマンドデータ : @SSW,1,1 CR LF (ASCII 文字) ・ タイムアウト : 0 ms ・ リトライ回数 : 0 回 ・ リトライ間隔 : 0 ms ・ リトライオーバー : 継続する ・ 受信データ : 表示しない ・ 返信コマンド : チェックしない
備考	—	

@GEC / @SEC	制御コマンド (受信データの表示)																																					
機能	取得	設定																																				
書式	@GEC, no ☐	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☐																																				
返り値	@GEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☐	@SEC, no, delay, port, memo, length, command, timeout, retry, interval, retryover, display, delimiter ☐																																				
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32 delay : 遅延時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒 port : 出力ポート 1 ~ 4095 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>bit</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>port</td> <td>LAN 5</td> <td>LAN 4</td> <td>LAN 3</td> <td>LAN 2</td> <td>LAN 1</td> <td>RS-232C OUT2B</td> <td>RS-232C OUT1B</td> <td>RS-232C</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>bit</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>port</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>LOOP BACK</td> <td>LAN 8</td> <td>LAN 7</td> <td>LAN 6</td> </tr> </table> <p>コマンドを送信する出力ポートに該当するビットが 1 になります (bit12 - bit15 は未使用なので常に 0 になります)。例えば RS-232C にコマンドを送信する場合は 1 (2 進数で 0000000000000001) になり、LAN1 にコマンドを送信する場合は 8 (2 進数で 0000000000001000) になります。</p>		bit	7	6	5	4	3	2	1	0	port	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C	bit	15	14	13	12	11	10	9	8	port	—	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6
bit	7	6	5	4	3	2	1	0																														
port	LAN 5	LAN 4	LAN 3	LAN 2	LAN 1	RS-232C OUT2B	RS-232C OUT1B	RS-232C																														
bit	15	14	13	12	11	10	9	8																														
port	—	—	—	—	LOOP BACK	LAN 8	LAN 7	LAN 6																														

@GEC / @SEC	制御コマンド (受信データの表示) つづき	
パラメータ	<p>memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで</p> <p>length : 送信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30</p> <p>command : 送信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length × 2 桁</p> <p>timeout : タイムアウト時間 0 = 0 秒 ~ 99999 = 99.999 秒</p> <p>retry : リトライ回数 0 ~ 99</p> <p>interval : リトライ間隔 0 = 0 秒 ~ 99999 = 99.999 秒</p> <p>retryover : リトライオーバー時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する</p> <p>display : 受信データの表示 1 = ASCII コードで表示する, 2 = 16 進数で表示する</p> <p>delimiter : デリミタ デリミタを監視する場合は、0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で 2 桁 100 = デリミタを監視しない</p>	
実行例	<p>@GEC,3 <input type="checkbox"/></p> <p>@GEC,3,0,8,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D <input type="checkbox"/></p>	<p>制御コマンド番号 3 に登録された内容を取得。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅延時間 : 0 ms ・出力ポート : LAN1 ・メモ : POWER STATUS ・データサイズ : 9 バイト ・コマンドデータ : GET POW CR LF (ASCII 文字) ・タイムアウト : 2000 ms ・リトライ回数 : 2 回 ・リトライ間隔 : 200 ms 間隔で再送信する ・リトライオーバー : 停止する ・受信データ : ASCII コードで表示する ・デリミタ : 0D=16 進数 (CR =ASCII 文字)

@GEC / @SEC	制御コマンド (受信データの表示) つづき	
実行例	<pre>@SEC,3,0,8,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D ↵ @SEC,3,0,8,POWER STATUS,9, 47455420504F570D0A, 2000,2,200,0,1,0D ↵</pre>	<p>制御コマンド番号 3 に以下の内容で登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遅延時間 : 0 ms ・ 出力ポート : LAN1 ・ メモ : POWER STATUS ・ データサイズ : 9 バイト ・ コマンドデータ : GET POW CR LF (ASCII 文字) ・ タイムアウト : 2000 ms ・ リトライ回数 : 2 回 ・ リトライ間隔 : 200 ms 間隔で再送信する ・ リトライオーバー : 停止する ・ 受信データ : ASCII コードで表示する ・ デリミタ : 0D=16 進数 (CR =ASCII 文字)
備考	—	

@GEC / @SEC	制御コマンド (CEC 制御)	
機能	取得	設定
書式	@GEC, no []	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) []
返り値	@GEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) []	@SEC, no, delay, port, memo, error, ch_1, cec_1 (, ch_2, cec_2···) []
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	delay : 遅延時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒	
	port : CEC 制御 4096 = CEC 制御の場合は、4096 になります	
	memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで	
	error : 機器から応答がなかった時の処理 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する	
	ch_1-4 : 出力コネクタ 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4=OUT2B	
	cec_1-4 : 制御コマンド 0 =制御しない, 1 = POWER OFF, 2 = POWER ON	
	取得コマンドの場合、制御する出力コネクタと制御コマンドをカンマで区切って返信します。 設定コマンドの場合、制御する出力コネクタと制御コマンドを指定します。 制御する出力のみパラメータを送信すれば、パラメータが送信されなかった出力については自動的にすべて“制御しない”に設定されるため、通常は“制御しない”のパラメータを指定する必要はありません。	
実行例	@GEC,7 [] @GEC,7,0,4096,DISPLAY1 ON,0,1,2 []	制御コマンド番号 7 に登録された内容を取得。 ・遅延時間 : 0ms ・メモ : DISPLAY1 ON ・エラー時 : 停止する ・OUT1 に接続されたシンク機器の電源を ON する ・その他の出力はすべて制御しない
	@SEC,7,0,4096,DISPLAY1 ON,0,1,2 [] @SEC,7,0,4096,DISPLAY1 ON,0,1,2 []	制御コマンド番号 7 に以下の内容で登録。 ・遅延時間 : 0 ms ・メモ : DISPLAY1 ON ・エラー時 : 停止する ・OUT1 に接続されたシンク機器の電源を ON する ・その他の出力はすべて制御しない
備考	—	

@GRC / @SRC	返信コマンド	
機能	取得	設定
書式	@GRC, no <input type="checkbox"/>	@SRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>
返り値	@GRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>	@SRC, no, process, length, command, mask, memo <input type="checkbox"/>
パラメータ	no : 制御コマンド番号 1 ~ 32	
	process : 処理判定 0 = 処理を停止する, 1 = 処理を継続する, 2 = コマンドを再送信する	
	length : 返信コマンドデータサイズ (バイト数) 0 ~ 30	
	command : 返信コマンドデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length × 2 桁	
	mask : マスクデータ 0 ~ 9, A ~ F, a ~ f = 4 ビット 1 桁 (16 進数表記) で length × 2 桁	
	memo : メモ ASCII コードの 20 ~ 7D で 2C (カンマ) 以外の中から最大 14 文字まで	
実行例	@GRC,2 <input type="checkbox"/> @GRC,2,0,1,40,40,NG <input type="checkbox"/>	返信コマンド番号 2 に登録された内容を取得。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理判定 : 停止する ・ データサイズ : 1 バイト ・ コマンドデータ : 40 (16 進数) ・ マスクデータ : 40 (上から 2 ビット目をチェック) ・ メモ : NG
	@SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF,OK <input type="checkbox"/> @SRC,1,1,9, 52454356204F4B0D0A, FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF,OK <input type="checkbox"/>	返信コマンド番号 1 に以下の内容で登録。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理判定 : 継続する ・ データサイズ : 9 バイト ・ コマンドデータ : RECV OK CR LF (ASCII 文字) ・ マスクデータ : すべて FF (全ビットチェック) ・ メモ : OK
備考	—	

@GCC / @SCC	制御コマンド 関連付け	
機能	取得	設定
書式	@GCC, event <input type="checkbox"/>	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>	@SCC, event, c_1 (, c_2, c_3...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	event : 制御コマンド実行条件 設定値は [表 3.2] をご覧ください。 c_1-10 : 送信コマンド 0 = 関連付けなし, 1 ~ 32 = 制御コマンド 1 ~ 32 次のいずれかで登録した制御コマンドを関連付けます。 @GEC / @SEC 制御コマンド (通信コマンド制御) (P.74)、 @GEC / @SEC 制御コマンド (受信データの表示) (P.76)、 @GEC / @SEC 制御コマンド (CEC 制御) (P.79)	
実行例	@GCC,1 <input type="checkbox"/>	電源投入時に関連付けられている制御コマンドを取得。
	@GCC,1,5,2,1 <input type="checkbox"/>	制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行する。
	@SCC,1,5,2,1 <input type="checkbox"/> @SCC,1,5,2,1 <input type="checkbox"/>	電源投入時に制御コマンド 5、制御コマンド 2、制御コマンド 1 の順で実行。
備考	—	

[表 3.2] 制御コマンド実行条件のパラメータ

No.*	実行条件	No.*	実行条件	No.*	実行条件
1	POWER ON	6	VIDEO:OUT1-IN1	18	VIDEO:OUT2-IN1
2	DISPLAY1 POWER ON	7	VIDEO:OUT1-IN2	19	VIDEO:OUT2-IN2
3	DISPLAY1 POWER OFF	8	VIDEO:OUT1-IN3	20	VIDEO:OUT2-IN3
4	DISPLAY2 POWER ON	9	VIDEO:OUT1-IN4	21	VIDEO:OUT2-IN4
5	DISPLAY2 POWER OFF	10	VIDEO:OUT1-IN5	22	VIDEO:OUT2-IN5
		11	VIDEO:OUT1-OFF	23	VIDEO:OUT2-OFF
		12	AUDIO:OUT1-IN1	24	AUDIO:OUT2-IN1
		13	AUDIO:OUT1-IN2	25	AUDIO:OUT2-IN2
		14	AUDIO:OUT1-IN3	26	AUDIO:OUT2-IN3
		15	AUDIO:OUT1-IN4	27	AUDIO:OUT2-IN4
		16	AUDIO:OUT1-IN5	28	AUDIO:OUT2-IN5
		17	AUDIO:OUT1-OFF	29	AUDIO:OUT2-OFF

※ event の設定値

@GIT / @SIT	制御コマンド実行時の操作無効時間	
機能	取得	設定
書式	@GIT	@SIT, time
返り値	@GIT, time	@SIT, time
パラメータ	time : 操作無効時間 0 = 0 秒 ~ 999999 = 999.999 秒 ※初期値 0 秒	
実行例	@GIT	制御コマンド実行時の操作無効時間を取得。
	@GIT,2000	制御コマンド実行中または制御コマンド開始後 2000 ms (2 秒) 経過するまでは操作無効。
	@SIT,2000	制御コマンド実行時の操作無効時間を 2000 ms (2 秒) に設定。
備考	—	

@DEC	登録したコマンドおよび関連付けの消去	
機能	設定	
書式	@DEC, no_1 (, no_2, no_3...)	
返り値	@DEC, no_1 (, no_2, no_3...)	
パラメータ	no_1-32 : 消去するコマンドまたは関連付け 1 ~ 32 : 制御コマンド 1 ~ 32 101 ~ 132 : 返信コマンド 1 ~ 32 201 ~ 237 : 制御コマンドの関連付け 1 ~ 37	
	<ul style="list-style-type: none"> 返信コマンドは、3 桁の数値 (1) を除く下 2 桁に、“返信コマンド番号”を設定してください。 <p style="text-align: center;">【参照 : @GRC / @SRC 返信コマンド (P.80)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御コマンドの関連付けは、3 桁の数値 (2) を除く下 2 桁に、“制御コマンド実行条件”を設定してください。 <p style="text-align: center;">【参照 : @GCC / @SCC 制御コマンド 関連付け (P.81)】</p>	
実行例	@DEC,201 @DEC,201	POWER ON の関連付けを消去。 正常終了。
備考	—	

@GTF / @STF	シンク機器電源スイッチの点滅時間	
機能	取得	設定
書式	@GTF, switch_1 (, switch_2) Ⓜ	@STF, switch_1, flash_1 (, switch_2, flash_2) Ⓜ
返り値	@GTF, switch_1, flash_1 (, switch_2, flash_2) Ⓜ	@STF, switch_1, flash_1 (, switch_2, flash_2) Ⓜ
パラメータ	switch_1-2 : スイッチ種別 0 = 全スイッチ, 1 = DISPLAY1 POWER, 2 = DISPLAY2 POWER	
	flash_1-2 : 点滅時間 -1 = 制御コマンド実行中に点滅する ※初期値, 0 = 点滅しない, 1 ~ 1000 = 1 秒 ~ 1000 秒まで指定された時間点滅する	
実行例	@GTF,1 Ⓜ @GTF,1,-1 Ⓜ	DISPLAY1 POWER の点滅時間を取得。 制御コマンド実行中に点滅。
	@STF,1,5 Ⓜ @STF,1,5 Ⓜ	DISPLAY1 POWER は、制御コマンド実行開始後 5 秒間点滅。 正常終了。
備考	—	

3.3.14 プリセットメモリ

@RCM	クロスポイントメモリの読み出し	
機能	設定	
書式	@RCM, memory [↓]	
返り値	@RCM, memory [↓]	
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7	
実行例	@RCM,1 [↓] @RCM,1 [↓]	クロスポイントメモリ 1 の映像・音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
備考	-	

@SCM / @SEM	クロスポイントメモリへの保存	
機能	上書き保存	引き継ぎ保存
書式	@SCM, memory (, name) [↓]	@SEM, memory (, name) [↓]
返り値	@SCM, memory (, name) [↓]	@SEM, memory (, name) [↓]
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7	
	name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	@SCM,2 [↓] @SCM,2 [↓]	現在の映像・音声チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 にメモリ名を変更せずに保存する。
	@SEM,2,PATTERN2 [↓] @SEM,2,PATTERN2 [↓]	現在の映像・音声チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」という名前で保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。
備考	-	

@GCM / @ECM		クロスポイントメモリの編集	
機能	取得	設定	
書式	@GCM, memory [↵]	@ECM, memory, v_1, a_1 (, v_2, a_2) [↵]	
返り値	@GCM, memory, v_1, a_1 (, v_2, a_2), name [↵]	@ECM, memory, v_1, a_1 (, v_2, a_2) [↵]	
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7		
	v_1-2 : 映像チャンネル a_1-2 : 音声チャンネル -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 5 = IN5		
	name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)		
実行例	@GCM,2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 の映像・音声チャンネルを取得。	
	@GCM,2,3,3,1,1,PATTERN2 [↵]	「PATTERN2」という名前で、映像・音声ともに OUT1 は IN3、OUT2 は IN1 が保存されている。	
	@ECM,2,1,1,-1,-1 [↵] @ECM,2,1,1,-1,-1 [↵]	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、OUT1 は IN1 に設定し、OUT2 は制御しない。	
備考	工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、“制御しない”状態になります。はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ (@SCV) または音声のみ (@SCA) を保存した場合、保存していない音声または映像は“制御しない”が返信されます。		

@RCV		クロスポイントメモリの読み出し (映像チャンネル設定)	
機能	設定		
書式	@RCV, memory [↵]		
返り値	@RCV, memory [↵]		
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7		
実行例	@RCV,1 [↵]	クロスポイントメモリ 1 の映像チャンネルを読み出す。	
	@RCV,1 [↵]	正常終了。	
備考	-		

@SCV / @SEV	クロスポイントメモリへの保存 (映像チャンネル設定)	
機能	上書き保存	引き継ぎ保存
書式	@SCV, memory (, name) <input type="checkbox"/>	@SEV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
返り値	@SCV, memory (, name) <input type="checkbox"/>	@SEV, memory (, name) <input type="checkbox"/>
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7 name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	@SCV,2 <input type="checkbox"/> @SCV,2 <input type="checkbox"/>	現在の映像チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 にメモリ名を変更せずに保存する。
	@SEV,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/> @SEV,2,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	現在の映像チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」という名前で保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。
備考	-	

@GCV / @ECV	クロスポイントメモリの編集 (映像チャンネル設定)	
機能	取得	設定
書式	@GCV, memory <input type="checkbox"/>	@ECV, memory, v_1 (, v_2) <input type="checkbox"/>
返り値	@GCV, memory, v_1 (, v_2) , name <input type="checkbox"/>	@ECV, memory, v_1 (, v_2) <input type="checkbox"/>
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7 v_1-2 : 映像チャンネル -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)	
実行例	@GCV,2 <input type="checkbox"/> @GCV,2,3,1,PATTERN2 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 の映像チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、OUT1 は IN3、OUT2 は IN1 が保存されている。
	@ECV,2,1,-1 <input type="checkbox"/> @ECV,2,1,-1 <input type="checkbox"/>	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、OUT1 は IN1 に設定し、OUT2 は制御しない。
備考	工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、“制御しない”状態になります。はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、音声のみ (@SCA) を保存した場合、保存していない映像は“制御しない”が返信されます。	

@RCA	クロスポイントメモリの読み出し (音声チャンネル設定)	
機能	設定	
書式	@RCA, memory [↓]	
返り値	@RCA, memory [↓]	
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7	
実行例	@RCA,1 [↓] @RCA,1 [↓]	クロスポイントメモリ 1 の音声チャンネルを読み出す。 正常終了。
備考	-	

@SCA / @SEA	クロスポイントメモリへの保存 (音声チャンネル設定)	
機能	上書き保存	引き継ぎ保存
書式	@SCA, memory (, name) [↓]	@SEA, memory (, name) [↓]
返り値	@SCA, memory (, name) [↓]	@SEA, memory (, name) [↓]
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7	
	name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずにクロスポイントの設定のみ保存します。	
実行例	@SCA,2 [↓] @SCA,2 [↓]	現在の音声チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 にメモリ名を変更せずに保存する。
	@SEA,2,PATTERN2 [↓] @SEA,2,PATTERN2 [↓]	現在の音声チャンネルを、クロスポイントメモリ 2 に「PATTERN2」という名前で保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力の設定は保存しない。
備考	-	

@GCA / @ECA	クロスポイントメモリの編集 (音声チャンネル設定)	
機能	取得	設定
書式	@GCA, memory [↵]	@ECA, memory, a_1 (, a_2) [↵]
返り値	@GCA, memory, a_1 (, a_2), name [↵]	@ECA, memory, a_1 (, a_2) [↵]
パラメータ	memory : クロスポイントメモリ 1 ~ 7 a_1-2 : 音声チャンネル -1 = 制御しない ※初期値, 0 = OFF, 1 = IN1 ~ 5 = IN5 name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで ※初期値 20 (スペース)	
実行例	@GCA,2 [↵] @GCA,2,3,1,PATTERN2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 の音声チャンネルを取得。 「PATTERN2」という名前で、OUT1 は IN3、OUT2 は IN1 が保存されている。
	@ECA,2,1,2 [↵] @ECA,2,1,2 [↵]	クロスポイントメモリ 2 を読み出すと、OUT1~2 は IN1~2 と 1:1 に設定する。
備考	工場出荷時はメモリに何も保存されておらず、“制御しない”状態になります。はじめてクロスポイントに設定を保存する際に、映像のみ (@SCV) を保存した場合、保存していない音声は“制御しない”が返信されます。	

@RPM / @SPM	全設定の保存	
機能	読み出し	保存
書式	@RPM, preset [↵]	@SPM, preset (, name) [↵]
返り値	@RPM, preset [↵]	@SPM, preset (, name) [↵]
パラメータ	preset : プリセットメモリ 1 ~ 8 name : メモリ名 ASCII コードの、20 ~ 7D の中から最大 10 文字まで メモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに各設定のみ保存します。	
実行例	@RPM,3 [↵] @RPM,3 [↵]	プリセットメモリ 3 を読み出す。 正常終了。
	@SPM,2 [↵] @SPM,2 [↵]	現在の設定を、プリセットメモリ 2 にメモリ名を変更せずに保存する。
	@SPM,2,MEMORY2 [↵] @SPM,2,MEMORY2 [↵]	現在の設定を、プリセットメモリ 2 に「MEMORY2」という名前で保存する。
備考	プリセットメモリを読み出すと、一部の環境設定を除く、映像および音声の入出力に関するすべての設定が更新されます。操作には十分にご注意ください。	

@SCP	出力設定のコピー	
機能	設定	
書式	@SCP, out_ori, out_des [↵]	
返り値	@SCP, out_ori, out_des [↵]	
パラメータ	out_ori : コピー元の出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	out_des : コピー先の出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@SCP,2,1 [↵] @SCP,2,1 [↵]	OUT2 の設定を OUT1 にコピー。 正常終了。
備考	出力設定のコピーをすると、出力に関するすべての設定がコピーされます。操作には十分にご注意ください。	

@GMU / @SMU	電源投入時の設定	
機能	取得	設定
書式	@GMU [↵]	@SMU, state [↵]
返り値	@GMU, state [↵]	@SMU, state [↵]
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 7 = クロスポイントメモリ 1 ~ 7, 8 = チャンネル OFF, 9 = ラストチャンネル ※初期値, 10 ~ 17 = プリセットメモリ 1 ~ 8	
実行例	@GMU [↵] @GMU,3 [↵]	電源投入時の設定を取得。 電源投入時はクロスポイントメモリ 3 に 保存されたチャンネル設定で起動する。
	@SMU,3 [↵] @SMU,3 [↵]	電源投入時のチャンネル設定をクロスポ イントメモリ 3 に設定。 正常終了。
備考	-	

3.3.15 ビットマップ設定

@GBM / @SBM	ビットマップ画像の出力	
機能	取得	設定
書式	@GBM [↵]	@SBM, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]
返り値	@GBM, out_1 (, out_2) [↵]	@SBM, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]
パラメータ	out_1-2 : ビットマップ画像の出力 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GBM [↵] @GBM,1,0 [↵]	出力されている映像を取得。 OUT1 はビットマップ 1 の画像を出力し、 OUT2 はビットマップの画像を出力しない。
	@SBM,1,1 [↵]	OUT1 へ通常の映像の代わりにビットマ ップ 1 の画像を出力。
	@SBM,1,1 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GGB / @SBB	バックカラー	
機能	取得	設定
書式	@GGB, ch [↵]	@SBB, ch_1, bitmap_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, bitmap_2, red_2, green_2, blue_2...) [↵]
返り値	@GGB, ch, red1, green1, blue1 (, red_2, green_2, blue_2...) [↵]	@SBB, ch_1, bitmap_1, red_1, green_1, blue_1 (, ch_2, bitmap_2, red_2, green_2, blue_2...) [↵]
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-8 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	red_1-8 : バックカラー(赤) green_1-8 : バックカラー(緑) blue_1-8 : バックカラー(青) 0 ~ 255 ※初期値 255 (白) 取得コマンドの場合、登録されているビットマップの設定を順番に返信します。	
	bitmap_1-8 : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
実行例	@GGB,2 [↵] @GGB,2,255,0,0 [↵]	OUT2 のバックカラーを取得。 R が 255、G と B が 0 に設定されている (赤色)。
	@SBB,1,1,255,255,255 [↵]	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合のバックカラーを RGB とともに 255 (白色) に設定する。
	@SBB,1,1,255,255,255 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GBT / @SBT	アスペクト比	
機能	取得	設定
書式	@GBT, ch <input type="checkbox"/>	@SBT, ch_1, bitmap_1, aspect_1 (, ch_2, bitmap_2, aspect_2...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GBT, ch, aspect_1 (, aspect_2...) <input type="checkbox"/>	@SBT, ch_1, bitmap_1, aspect_1 (, ch_2, bitmap_2, aspect_2...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-8 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	aspect_1-8 : アスペクト比 0 = AUTO ※初期値, 1 = FULL, 2 = THROUGH 取得コマンドの場合、登録されているビットマップの設定を順番に返信します。	
	bitmap_1-8 : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
実行例	@GBT,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 のアスペクト比を取得。 FULL 画面表示する。
	@GBT,1,1 <input type="checkbox"/>	
	@SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/>	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合 のアスペクト比を FULL に設定。 正常終了。
	@SBT,1,1,1 <input type="checkbox"/>	
備考	—	

@GZP / @SZP	表示位置	
機能	取得	設定
書式	@GZP, ch <input type="checkbox"/>	@SZP, ch_1, bitmap_1, position_1 (, ch_2, bitmap_2, position_2...) <input type="checkbox"/>
返り値	@GZP, ch, position_1 (, position_2...) <input type="checkbox"/>	@SZP, ch_1, bitmap_1, position_1 (, ch_2, bitmap_2, position_2...) <input type="checkbox"/>
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-8 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	position_1-8 : 表示位置 0 = CENTER ※初期値, 1 = TOP-LEFT, 2 = BOTTOM-LEFT, 3 = TOP-RIGHT, 4 = BOTTOM-RIGHT 取得コマンドの場合、登録されているビットマップの設定を順番に返信します。	
	bitmap_1-8 : ビットマップ番号 0 = 全ビットマップ, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
実行例	@GZP,1 <input type="checkbox"/>	OUT1 の表示位置を取得。
	@GZP,1,1 <input type="checkbox"/>	左上に表示する。
	@SZP,1,1,1 <input type="checkbox"/>	ビットマップ 1 を OUT1 に出力する場合は左上に表示。
	@SZP,1,1,1 <input type="checkbox"/>	正常終了。
備考	—	

@GBA / @SBA	入力チャンネル割り当て	
機能	取得	設定
書式	@GBA, ch [↵]	@SBA, ch_1, input_1, bitmap_1 (, ch_2, input_2, bitmap_2···) [↵]
返り値	@GBA, ch, bitmap_1, bitmap_2, bitmap_3, bitmap_4, bitmap_5 [↵]	@SBA, ch_1, input_1, bitmap_1 (, ch_2, input_2, bitmap_2···) [↵]
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	ch_1-14 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	bitmap_1-14 : ビットマップ割り当て 0 = NONE ※初期値, 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
	input_1-14 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = IN1 ~ 5 = IN5	
実行例	@GBA,1 [↵] @GBA,1,0,0,0,0,1 [↵]	OUT1 のビットマップ割り当てを取得。 OUT1 は IN5 にビットマップ 1 が割り当てられており、その他の入力チャンネルはビットマップが割り当てられていない。
	@SBA,1,5,1 [↵] @SBA,1,5,1 [↵]	OUT1 は IN5 にビットマップ 1 を割り当て。(IN5 を選択するとビットマップ 1 が出力されます) 正常終了。
備考	—	

@GPB / @SPB	電源投入時のビットマップ画像の出力	
機能	取得	設定
書式	@GPB [↵]	@SPB, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]
返り値	@GPB, out_1 (, out_2) [↵]	@SPB, ch_1, out_1 (, ch_2, out_2) [↵]
パラメータ	out_1-2 : ビットマップ画像の出力 0 = OFF ※初期値, 1 = ビットマップ 1 ON, 2 = ビットマップ 2 ON, 3 = ビットマップ 3 ON, 4 = ビットマップ 4 ON ビットマップは登録されている番号のみ指定可能です。	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GPB [↵]	電源投入時のビットマップ画像出力を取得。
	@GPB,0,1 [↵]	OUT2 にビットマップ 1 の画像を出力する。
	@SPB,1,0 [↵]	OUT1 は電源投入時にビットマップ画像を出力しない。
	@SPB,1,0 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GBD / @SBD	ビットマップ用メモリの分割	
機能	取得	設定
書式	@GBD [↵]	@SBD, num, mode (, size_1, size_2···) [↵]
返り値	@GBD, num, block_1 (, block_2···) [↵]	@SBD, num, mode, block_1 (, block_2···) [↵]
パラメータ	num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1	
	block_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128 正常にメモリが分割できた場合は、分割後のブロックサイズを返信します。	
	mode : 分割モード 0 = 自動モード, 1 = リサイズモード, 2 = 強制モード, 3 = サイズ指定モード サイズ指定モードを選択した場合は、size_1-4 を指定します。	
	size_1-4 : 各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 128 1 ブロックは 65,536 バイトで、全ビットマップの合計サイズが 128 ブロック (8,388,608 バイト以下になるように設定します。) mode が “3” の場合のみ指定します。	
実行例	@GBD [↵] @GBD,2,64,64 [↵]	ビットマップ用メモリの分割設定を取得。 ビットマップ1およびビットマップ2は、それぞれ 64 ブロック(4,194,304 バイト)のメモリが確保されている。
	@SBD,2,1 [↵] @SBD,2,1,64,64 [↵]	ビットマップ用メモリをリサイズモードで2分割。 ビットマップ1およびビットマップ2は、それぞれ 64 ブロック(4,194,304 バイト)のメモリを確保した。
備考	—	

@GBV	ビットマップ用メモリの使用状態	
機能	取得	
書式	@GBV [↵]	
返り値	@GBV, num, block_1 (, block_2····) [↵]	
パラメータ	num : 分割数 1 ~ 4 ※初期値 1	
	block_1-4 : 実際に使用されている各メモリのブロックサイズ 0 ~ 128 ※初期値 12	
実行例	@GBV [↵] @GBV,2,32,0 [↵]	ビットマップ用メモリの実際の使用状態を取得。 ビットマップ1は32ブロック (2,097,152バイト) が使用され、ビットマップ2は登録されていない。
備考	—	

@GBN / @SBN	登録するビットマップ番号	
機能	取得	設定
書式	@GBN [↵]	@SBN, bitmap [↵]
返り値	@GBN, bitmap [↵]	@SBN, bitmap [↵]
パラメータ	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ1 ※初期値, 2 = ビットマップ2, 3 = ビットマップ3, 4 = ビットマップ4 ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です。 リモートコントロールプログラムなどでビットマップを書き込む場合は、先に書き込むビットマップ番号を指定してください。	
実行例	@GBN [↵]	登録するビットマップ番号を取得。
	@GBN,2 [↵]	ビットマップ2。
	@SBN,2 [↵]	ビットマップ2に画像を登録。(次に送信されたビットマップファイルはビットマップ2に登録されます。)
	@SBN,2 [↵]	正常終了。
備考	—	

@GFZ / @SFZ	フリーズ	
機能	取得	設定
書式	@GFZ [↵]	@SFZ, ch_1, freeze_1 (, ch_2, freeze_2) [↵]
返り値	@GFZ, freeze_1 (, freeze_2) [↵]	@SFZ, ch_1, freeze_1 (, ch_2, freeze_2) [↵]
パラメータ	freeze_1-2 : フリーズ (静止) 設定 0 = OFF ※初期値, 1 = ON	
	ch_1-2 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1 = OUT1, 2 = OUT2	
実行例	@GFZ [↵] @GFZ,1,0 [↵]	フリーズの状態を取得。 OUT1 は入力映像をフリーズして出力している。
	@SFZ,1,1 [↵] @SFZ,1,1 [↵]	OUT1 の映像をフリーズ設定。 正常終了。
備考	フリーズは一時的なものです。入力チャンネルを切り換えた場合や、入力信号が変化した場合は、自動的にフリーズが解除され、入力映像が通常どおり出力されます。	

@CAP	入力映像のキャプチャ	
機能	設定	
書式	@CAP, ch, bitmap [↵]	
返り値	@CAP, ch, bitmap [↵]	
パラメータ	ch : 出力チャンネル 1 = OUT1, 2 = OUT2	
	bitmap : ビットマップ番号 1 = ビットマップ 1, 2 = ビットマップ 2, 3 = ビットマップ 3, 4 = ビットマップ 4 ビットマップは分割数以下の番号のみ指定可能です。	
実行例	@CAP,1,2 [↵] @CAP,1,2 [↵]	OUT1 の入力映像をビットマップ 2 に登録。 正常終了。
	備考	-

3.3.16 その他設定

@GLS / @SLS	キーロック	
機能	取得	設定
書式	@GLS [↵]	@SLS, lock [↵]
返り値	@GLS, lock [↵]	@SLS, lock [↵]
パラメータ	lock : キーロック設定 0 = ロック解除 ※初期値, 1 = ロック有効, 2 = 現在の設定を逆にする	
実行例	@GLS [↵]	キーロック状態を取得。
	@GLS,1 [↵]	フロントパネルはキーロック中。
	@SLS,1 [↵]	フロントパネルをロック設定。
	@SLS,1 [↵]	正常終了。
備考	-	

@GLM / @SLM	フロントパネル キーロック対象	
機能	取得	設定
書式	@GLM [↵]	@SLM, channel, channel_mode, menu, power [↵]
返り値	@GLM, channel, channel_mode, menu, power [↵]	@SLM, channel, channel_mode, menu, power [↵]
パラメータ	channel : 入力チャンネル選択キー channel_mode : チャンネル切換モード選択 menu : メニュー操作キー power : シンク機器電源スイッチ 0 = キーロック対象外, 1 = キーロック対象 ※初期値	
実行例	@GLM [↵]	キーロック対象の設定を取得。
	@GLM,1,0,0,0 [↵]	入力チャンネル選択キーのみがキーロック対象。
	@SLM,1,0,0,0 [↵]	入力チャンネル選択キーのみをキーロック対象に設定。
	@SLM,1,0,0,0 [↵]	正常終了。
備考	-	

@GBZ / @SBZ	ブザー音	
機能	取得	設定
書式	@GBZ [↵]	@SBZ, bz [↵]
返り値	@GBZ, bz [↵]	@SBZ, bz [↵]
パラメータ	bz : ブザー音 0 = OFF, 1 = ON ※初期値	
実行例	@GBZ [↵] @GBZ,1 [↵]	ブザー音の状態を取得。 ブザー音は ON に設定されている。
	@SBZ,1 [↵] @SBZ,1 [↵]	ブザー音を ON に設定。 正常終了。
備考	-	

@GSS	入出力ステータス																	
機能	取得																	
書式	@GSS, channel, mode [↵]																	
返り値	@GSS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3...) [↵]																	
パラメータ	channel : 入出力チャンネル 1 = IN1, 2 = IN2, 3 = IN3, 4 = IN4, 5 = IN5, 11 = OUT1A, 12 = OUT1B, 13 = OUT2A, 14 = OUT2B																	
	mode / status_1-4 : 取得するステータス channel = 1 ~ 3 (デジタル入力チャンネル) の場合 0 = 1 ~ 3 のすべて, 1 = 入力信号の種類※ ¹ , 2 = 映像入力信号のフォーマット※ ² , 3 = 音声入力信号のフォーマット※ ³ , 4 = HDCP 入力の有無 channel = 4 ~ 5 (アナログ入力チャンネル) の場合 0 = 1 ~ 2 のすべて, 1 = 入力信号の種類※ ¹ , 2 = 映像入力信号のフォーマット※ ² channel = 11 ~ 14 (出力チャンネル) の場合 0 = 1 ~ 3 のすべて, 1 = HDCP の認証状態※ ⁴ , 2 = 出力信号の種類※ ⁵ , 3 = エラーコード※ ⁶																	
※ ¹ 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します。																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>R</td> <td>アナログ RGB 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>アナログ YPbPr 信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td>アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>アナログ S ビデオ信号が入力されています。</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table>			返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。	D	DVI 信号が入力されています。	R	アナログ RGB 信号が入力されています。	Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。	V	アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。	S	アナログ S ビデオ信号が入力されています。	N	信号が入力されていません。
返信	入力信号の種類																	
Hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。																	
D	DVI 信号が入力されています。																	
R	アナログ RGB 信号が入力されています。																	
Y	アナログ YPbPr 信号が入力されています。																	
V	アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。																	
S	アナログ S ビデオ信号が入力されています。																	
N	信号が入力されていません。																	

@GSS	入出カステータス (つづき)																																								
パラメータ	<p>※2 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 309 1410 748"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1080i 59.94Hz</td> <td>SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>800 x 600 60.00Hz</td> <td>RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NTSC</td> <td>アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。</td> </tr> <tr> <td>56.83kHz 60.02Hz</td> <td>本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 824 1410 1223"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)</td> <td>マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>音声信号が入力されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※4 HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します。</p> <table border="1" data-bbox="443 1299 1410 1859"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP SUPPORT</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>シンク機器の状態を確認中です。</td> </tr> <tr> <td>MONITOR DISCONNECT</td> <td>シンク機器が切り離されました。</td> </tr> <tr> <td>Cat6 LINK DISCONNECT</td> <td>Cat6 / Cat5e のケーブルが切り離されました。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)</td> </tr> <tr> <td>Cat6 NO LINK</td> <td>Cat6 / Cat5e のケーブルが接続されていません。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>シンク機器が接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	返信例	映像入力信号のフォーマット	1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。	800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。	NTSC	アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。	56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。	返信例	音声入力信号のフォーマット	LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)	NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。	返信例	HDCP の認証状態	HDCP SUPPORT	HDCP に対応したシンク機器が接続されています。	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。	HDCP CHECK NOW	シンク機器の状態を確認中です。	MONITOR DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。	Cat6 LINK DISCONNECT	Cat6 / Cat5e のケーブルが切り離されました。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)	Cat6 NO LINK	Cat6 / Cat5e のケーブルが接続されていません。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。
返信例	映像入力信号のフォーマット																																								
1080i 59.94Hz	SDTV / HDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を返信します。																																								
800 x 600 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します。																																								
NTSC	アナログコンポジットビデオ信号またはアナログ S ビデオ信号が入力されており、フォーマットの種別を返信します。																																								
56.83kHz 60.02Hz	本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を返信します。																																								
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。																																								
返信例	音声入力信号のフォーマット																																								
LINEAR PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																								
LINEAR PCM 48kHz (MULTI CHANNEL)	マルチチャンネルリニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します。																																								
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別をしないので、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)																																								
NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。																																								
返信例	HDCP の認証状態																																								
HDCP SUPPORT	HDCP に対応したシンク機器が接続されています。																																								
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されています。																																								
HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。																																								
HDCP CHECK NOW	シンク機器の状態を確認中です。																																								
MONITOR DISCONNECT	シンク機器が切り離されました。																																								
Cat6 LINK DISCONNECT	Cat6 / Cat5e のケーブルが切り離されました。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)																																								
Cat6 NO LINK	Cat6 / Cat5e のケーブルが接続されていません。(OUT1B と OUT2B の状態になります。)																																								
UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。																																								

@GSS	入出カステータス (つづき)		
パラメータ	※5 出力信号の種類は以下のいずれかを返信します。		
	返信	出力信号の種類	
	Hxx	HDMI 信号を出力しており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります。	
	D	DVI 信号を出力しています。	
	C	HDCP の認証中のため、映像を出力していません。	
	N	シンク機器が接続されていません。	
	O	ツイストペアケーブルが接続されていません。	
	※6 HDMI 出力コネクタ / HDBaseT 出力コネクタへの映像出力、HDMI 出力コネクタ / HDBaseT 出力コネクタへの音声出力、アナログ音声出力コネクタへの音声出力の順でエラーコードを返信します。		
	エラーコードは以下のいずれかになります。		
	エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態
0	正常に映像または音声出力されています。 ^{※7}		
1	@GVO / @SVO 映像出力コネクタ (P.49) が“OFF”に設定されています。	@GAM / @SAM 音声出力ミュート (P.56) が“ON”に設定されています。	
2	デジタル入力の場合のみ返信され、DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)		
3	映像信号が入力されていません。	音声信号が入力されていません。 ^{※7}	
4	デジタル入力の場合のみ返信され、ソース機器の映像出力または音声出力がミュート状態です。		
5	デジタル入力の場合のみ返信され、HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。(HDCP の認証処理中にも返信されることがあります。)		
6	デジタル入力の場合のみ返信され、映像または音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。		
7	本機が対応していない信号 (ドットクロック範囲外) が入力されています。	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)	
8	—	@GDO / @SDO 音声出力コネクタ (P.60) が“OFF”に設定されています。	
9	—	@GDM / @SDM 出力モード (P.46) が「DVI MODE」に設定されているか、音声に対応していないシンク機器が接続されています。 ^{※8}	

@GSS	入出力ステータス (つづき)																						
パラメータ	<table border="1" data-bbox="443 275 1410 788"> <thead> <tr> <th data-bbox="450 275 600 353">エラーコード</th> <th data-bbox="606 275 989 353">映像出力の状態</th> <th data-bbox="995 275 1404 353">音声出力の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="450 362 600 510">A</td> <td colspan="2" data-bbox="606 362 1404 510">入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切替 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切替 (P.19)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切替 (P.20))</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 519 600 622">B</td> <td data-bbox="606 519 989 622">—</td> <td data-bbox="995 519 1404 622">@GAO / @SAO デジタル音声出力コネクタ (P.60) が“OFF”に設定されています。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 631 600 667">C</td> <td colspan="2" data-bbox="606 631 1404 667">シンク機器が接続されていません。※8</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 676 600 712">D</td> <td colspan="2" data-bbox="606 676 1404 712">HDCP の認証中です。※8</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 721 600 757">E</td> <td colspan="2" data-bbox="606 721 1404 757">HDCP の認証に失敗しました。※8</td> </tr> <tr> <td data-bbox="450 766 600 788">F</td> <td colspan="2" data-bbox="606 766 1404 788">ツイストペアケーブルが接続されていません。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="411 833 1430 900">※7 アナログ音声信号の入力状態は検出できないため、「0」が返信される場合でも、アナログ入力を選択されているときは音声が出力されないことがあります。</p> <p data-bbox="411 945 1302 978">※8 HDMI 出力コネクタ / HDBaseT 出力コネクタのみの状態になります。</p>		エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態	A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切替 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切替 (P.19)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切替 (P.20))		B	—	@GAO / @SAO デジタル音声出力コネクタ (P.60) が“OFF”に設定されています。	C	シンク機器が接続されていません。※8		D	HDCP の認証中です。※8		E	HDCP の認証に失敗しました。※8		F	ツイストペアケーブルが接続されていません。	
エラーコード	映像出力の状態	音声出力の状態																					
A	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。 (@GSW / @SSW 映像・音声チャンネル同時切替 (P.19)、 @GSV / @SSV 映像チャンネル切替 (P.19)、 @GSA / @SSA 音声チャンネル切替 (P.20))																						
B	—	@GAO / @SAO デジタル音声出力コネクタ (P.60) が“OFF”に設定されています。																					
C	シンク機器が接続されていません。※8																						
D	HDCP の認証中です。※8																						
E	HDCP の認証に失敗しました。※8																						
F	ツイストペアケーブルが接続されていません。																						
実行例	@GSS,1,0  @GSS,1,0,H30,1080P 60Hz, LINEAR PCM 48kHz, HDCP ON 	IN1 の全ステータスを取得。 ・入力信号の種類：30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・映像入力信号：1080P 60Hz ・音声入力信号：LINEAR PCM 48kHz ・HDCP：ON																					
備考	—																						

@GES	モニタ EDID 情報	
機能	取得	
書式	@GES, channel, mode [↵]	
返り値	@GES, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3···) [↵]	
パラメータ	<p>channel : 出力コネクタ 1 = OUT1A, 2 = OUT1B, 3 = OUT2A, 4 = OUT2B</p> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~4 のすべて, 1 = モニタ名, 2 = 解像度とドットクロック, 3 = HDMI 対応状況およびサンプリング構造と色深度※¹, 4 = 音声の対応状況と、サンプリング周波数、ビット長、チャンネル数および圧縮音声の対応状況※²</p> <p>※¹ HDMI に対応していないシンク機器の場合「DVI」と返信します。HDMI に対応しているシンク機器の場合「HDMI」と返信し、続けて対応しているサンプリング構造(RGB, YCbCr 4:2:2, YCbCr 4:4:4 のうち対応しているものを / で区切って返信)-対応している色深度(24, 30, 36 のうち対応しているものを / で区切って返信)の順で返信します。</p> <p>※² 音声に対応していないシンク機器の場合「AUDIO NOT SUPPORT」と返信します。音声に対応しているシンク機器の場合「LINEAR PCM」と返信し、続けて対応しているサンプリング周波数(32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 のうち対応しているものを / で区切って返信)-ビット長 (16, 20, 24 のうち対応しているものを / で区切って返信)-チャンネル数 (1 ~ 8 のいずれか)-圧縮音声に対応していれば「COMPRESSED AUDIO SUPPORT」の順で返信します。</p>	
実行例	@GES,1,0 [↵] @GES,1,0,MSD-502, 1920x1080 148.50MHz,DVI,AUDIO NOT SUPPORT [↵]	OUT1A に接続されたシンク機器の EDID 情報を取得。 ・モニタ名 : MSD-502 ・解像度 : 1920x1080 ・ドットクロック : 148.50MHz ・HDMI : 非対応 ・音声 : 非対応
備考	—	

@GIV	バージョン情報	
機能	取得	
書式	@GIV [↵]	
返り値	@GIV, id, ver [↵]	
パラメータ	<p>id : 製品型番 ver : ファームウェアバージョン</p>	
実行例	@GIV [↵] @GIV,MSD-502,1.00 [↵]	製品の情報を取得。 製品型番とファームウェアバージョンを返信。
備考	—	

MSD-501 / 502 取扱説明書

<コマンドガイド>

Ver.1.4.0

発行日 2017 年 04 月 27 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>